２　男女共同参画に関する教育・学習について

１．人権の尊重、男女平等を推進する教育

問７　あなたは、人権の尊重、男女平等を推進する教育を主にどこで行うべきだと考えますか。
（１つに○）

人権の尊重、男女平等を推進する教育を行う場は
“学校教育の場”が58.1%、“家庭教育の場”が19.4%。

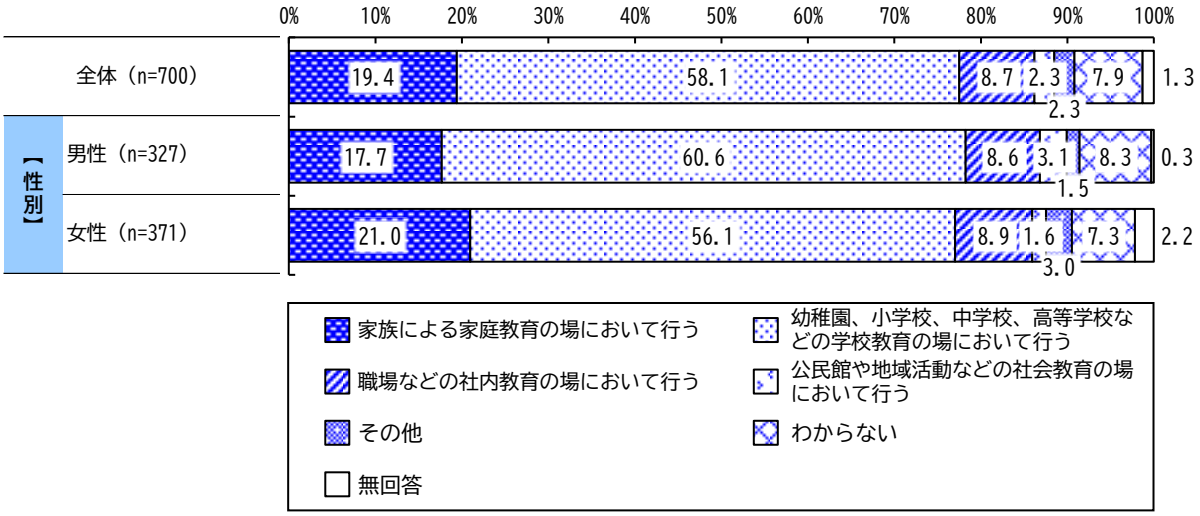
人権の尊重、男女平等を推進する教育を主にどこで行うべきだと考えるかとたずねたところ、「幼稚園、小学校、中学校、高等学校などの学校教育の場において行う」が58.1％と最も高く、次に「家族による家庭教育の場において行う」が19.4％、「職場などの社内教育の場において行う」が8.7％となっています。

性別でみると、「幼稚園、小学校、中学校、高等学校などの学校教育の場において行う」は、男性が60.6％、女性が56.1％となっています。

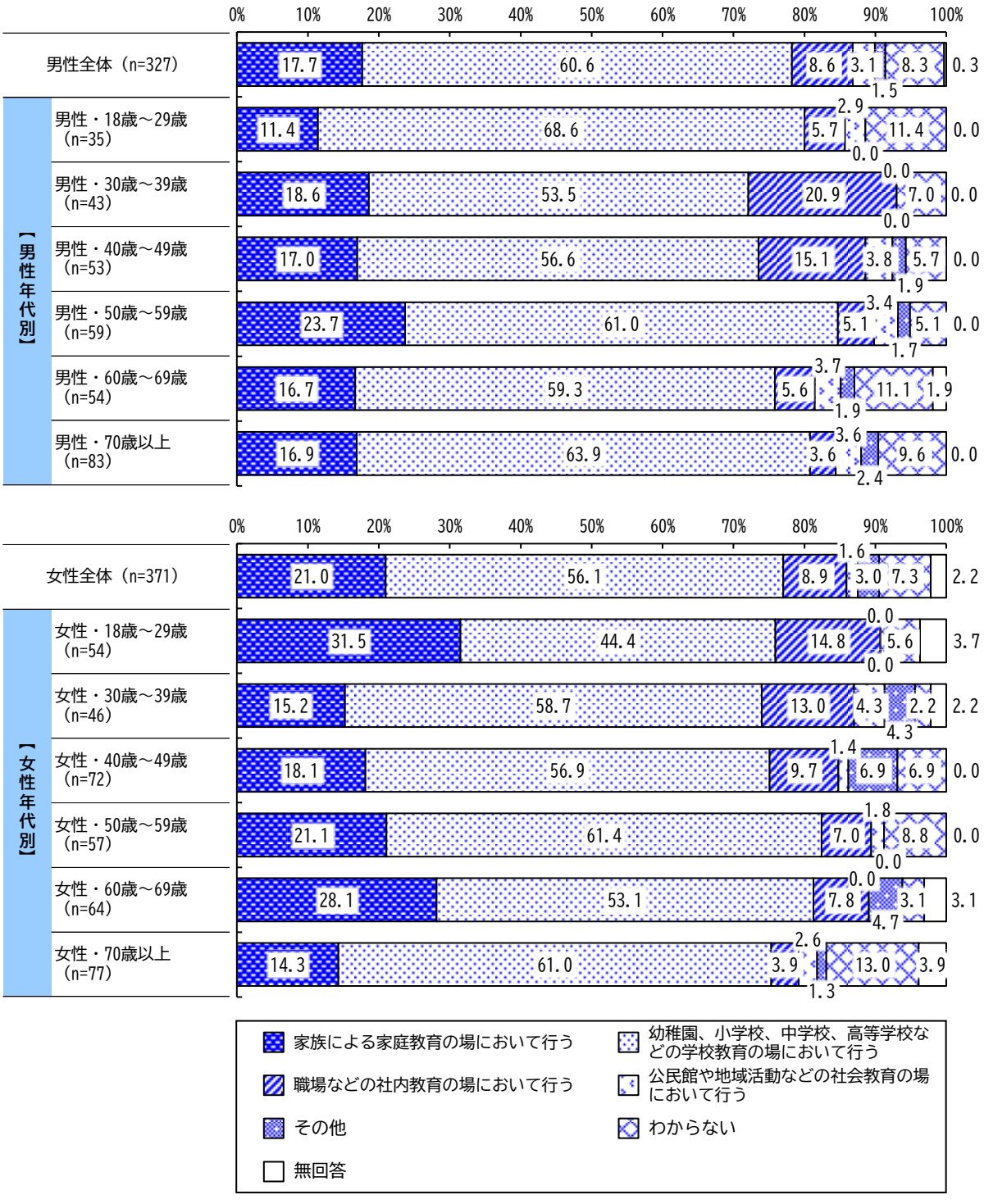
性・年代別でみると、男性の30歳～39歳、40歳～49歳、女性の18歳～29歳、30歳～39歳で「職場などの社内教育の場において行う」の割合が他の年代より高くなっています。

経年比較でみると、「家族による家庭教育の場において行う」が前回の調査より高くなっており、「幼稚園、小学校、中学校、高等学校などの学校教育の場において行う」は高い割合を維持しています。

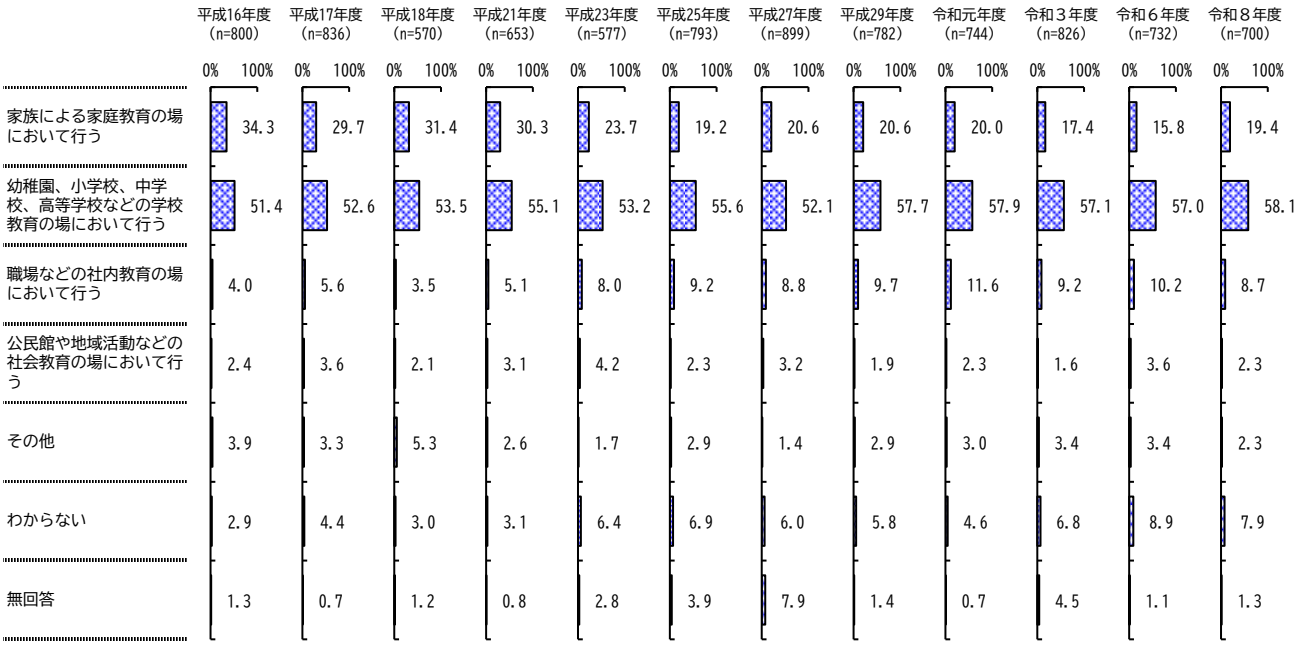
【全体・性別】



【性・年代別】


0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
男性全体（n=327）
17.7
60.6
8.6
3.1
8.3
1.5
0.3
【男性年代別】
男性・18歳～29歳（n=35）
11.4
68.6
2.9
5.7
0.0
11.4
0.0
男性・30歳～39歳（n=43）
18.6
53.5
20.9
0.0
7.0
0.0
0.0
男性・40歳～49歳（n=53）
17.0
56.6
15.1
3.8
5.7
1.9
0.0
男性・50歳～59歳（n=59）
23.7
61.0
3.4
5.1
5.1
1.7
0.0
男性・60歳～69歳（n=54）
16.7
59.3
3.7
5.6
1.9
11.1
1.9
男性・70歳以上（n=83）
16.9
63.9
3.6
3.6
2.4
9.6
0.0
女性全体（n=371）
21.0
56.1
1.6
8.9
3.0
7.3
2.2
【女性年代別】
女性・18歳～29歳（n=54）
31.5
44.4
0.0
14.8
5.6
0.0
3.7
女性・30歳～39歳（n=46）
15.2
58.7
13.0
4.3
2.2
4.3
2.2
女性・40歳～49歳（n=72）
18.1
56.9
1.4
9.7
6.9
6.9
0.0
女性・50歳～59歳（n=57）
21.1
61.4
1.8
7.0
8.8
0.0
0.0
女性・60歳～69歳（n=64）
28.1
53.1
0.0
7.8
3.1
4.7
3.1
女性・70歳以上（n=77）
14.3
61.0
2.6
3.9
1.3
13.0
3.9
家族による家庭教育の場において行う
幼稚園、小学校、中学校、高等学校などの学校教育の場において行う
職場などの社内教育の場において行う
公民館や地域活動などの社会教育の場において行う
その他
わからない
無回答

【経年比較】


平成16年度（n=800）
平成17年度（n=836）
平成18年度（n=570）
平成21年度（n=653）
平成23年度（n=577）
平成25年度（n=793）
平成27年度（n=899）
平成29年度（n=782）
令和元年度（n=744）
令和３年度（n=826）
令和６年度（n=732）
令和８年度（n=700）
0%
100%
家族による家庭教育の場において行う
34.3 29.7 31.4 30.3 23.7 19.2 20.6 20.6 20.0 17.4 15.8 19.4
幼稚園、小学校、中学校、高等学校などの学校教育の場において行う
51.4 52.6 53.5 55.1 53.2 55.6 52.1 57.7 57.9 57.1 57.0 58.1
職場などの社内教育の場において行う
4.0 5.6 3.5 5.1 8.0 9.2 8.8 9.7 11.6 9.2 10.2 8.7
公民館や地域活動などの社会教育の場において行う
2.4 3.6 2.1 3.1 4.2 2.3 3.2 1.9 2.3 1.6 3.6 2.3
その他
3.9 3.3 5.3 2.6 1.7 2.9 1.4 2.9 3.0 3.4 3.4 2.3
わからない
2.9 4.4 3.0 3.1 6.4 6.9 6.0 5.8 4.6 6.8 8.9 7.9
無回答
1.3 0.7 1.2 0.8 2.8 3.9 7.9 1.4 0.7 4.5 1.1 1.3

2. 子どもが男の子の場合の親の希望

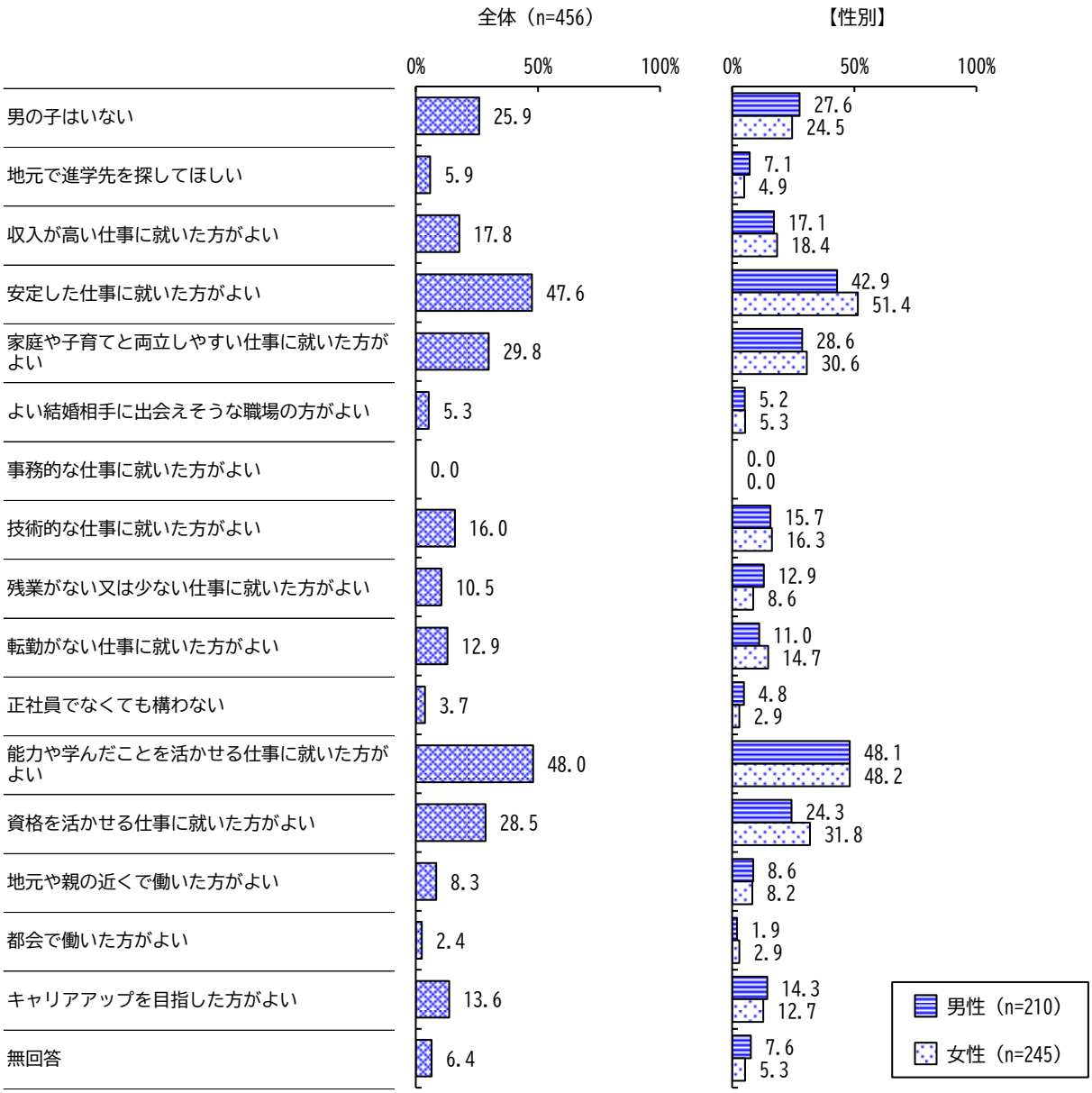
問８　お子さんがいる方（Ｆ５で「１」と答えた方）に伺います。
あなたは、自分の子ども（男の子）（年齢を問いません）に対して次のような考えがありますか。
（あてはまるもの全てに○）

子どもが男の子の場合の希望は「能力や学んだことを活かせる仕事に就いた方がよい」が48.0%。

子どもが男の子の場合の親の希望については「能力や学んだことを活かせる仕事に就いた方がよい」が48.0%と最も高く、次に「安定した仕事に就いた方がよい」が47.6%、「家庭や子育てと両立しやすい仕事に就いた方がよい」が29.8%となっています。

性別でみると、男性は「能力や学んだことを活かせる仕事に就いた方がよい」が48.1%、女性は「安定した仕事に就いた方がよい」が51.4%と最も高くなっています。

【全体・性別】



３. 子どもが女の子の場合の親の希望

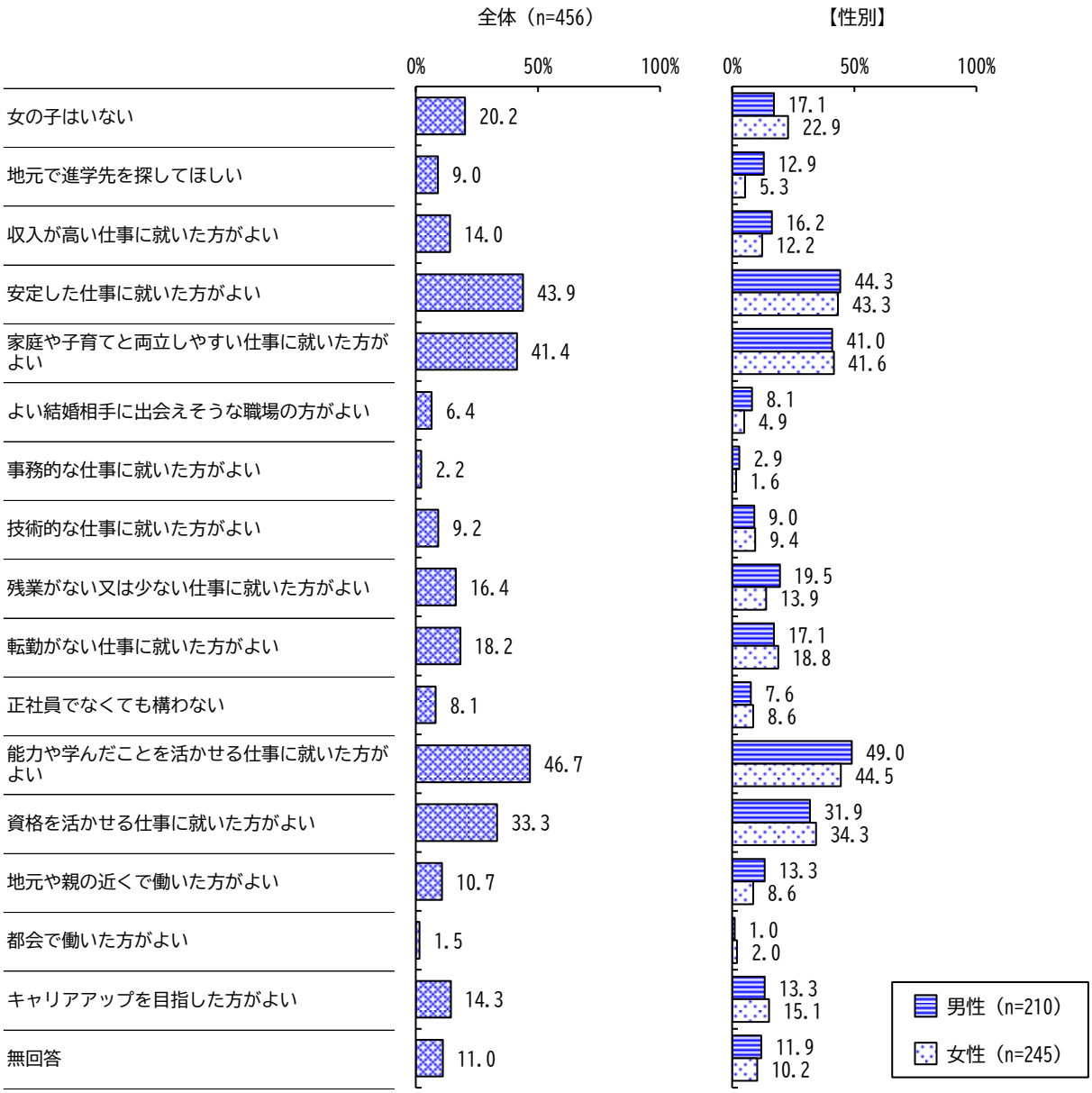
問８　お子さんがいる方（Ｆ５で「１」と答えた方）に伺います。
あなたは、自分の子ども（女の子）（年齢を問いません）に対して次のような考えがありますか。
（あてはまるもの全てに○）

子どもが女の子の場合の希望は「能力や学んだことを活かせる仕事に就いた方がよい」が46.7%。

子どもが女の子の場合の親の希望については「能力や学んだことを活かせる仕事に就いた方がよい」が46.7%と最も高く、次に「安定した仕事に就いた方がよい」が43.9%、「家庭や子育てと両立しやすい仕事に就いた方がよい」が41.4%となっています。

性別でみると、男性、女性ともに「能力や学んだことを活かせる仕事に就いた方がよい」が最も高く、それぞれ49.0%、44.5%となっています。

【全体・性別】



3　パートナー間の暴力について

1. ドメスティック・バイオレンスの経験

問９　過去１年間に、「夫婦・恋人など親しい間柄にあるパートナー間の暴力」（ドメスティック・バイオレンス）について、経験したり見聞きしたりしたことがありますか。（あてはまるもの全てに○）

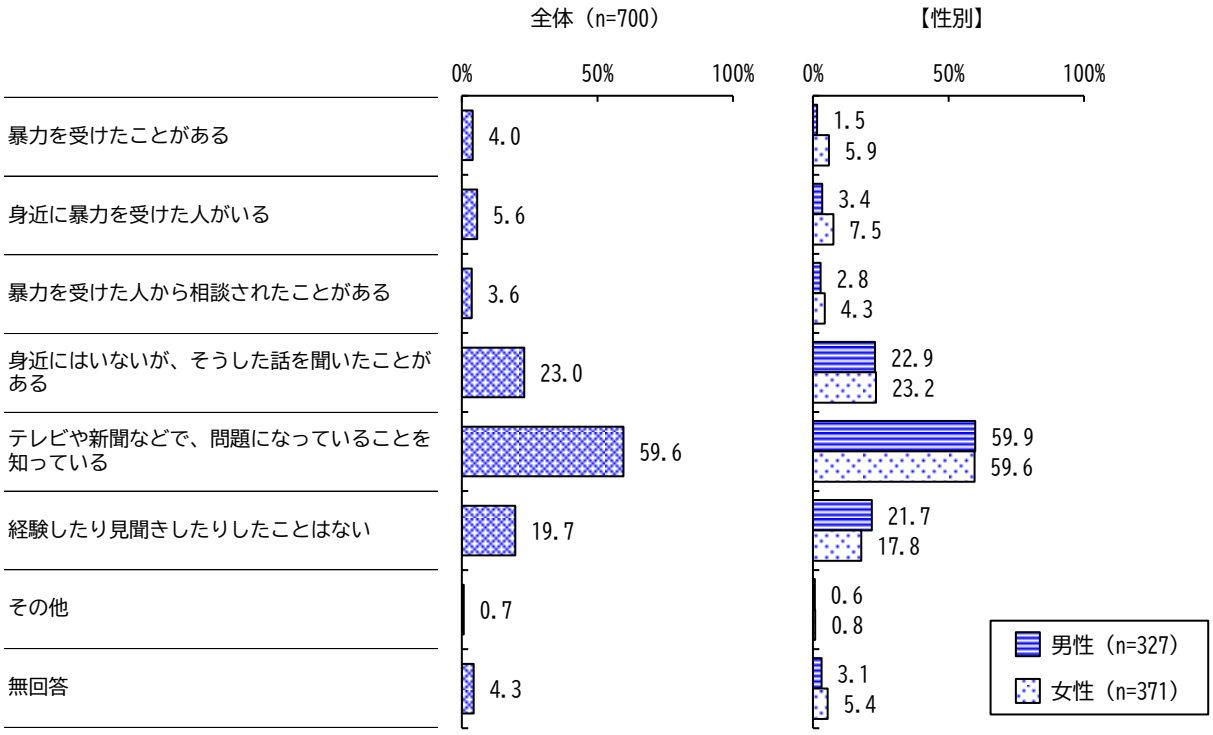
過去1年間に男性の1.5%、女性の5.9%が「暴力を受けたことがある」。

過去１年間に、ドメスティック・バイオレンスについて、経験したり見聞きしたりしたことについてたずねたところ、「テレビや新聞などで、問題になっていることを知っている」が59.6%と最も高く、次に「身近にはいないが、そうした話を聞いたことがある」が23.0%となっています。また、「暴力を受けたことがある」は4.0%、「経験したり見聞きしたりしたことはない」は19.7%となっています。

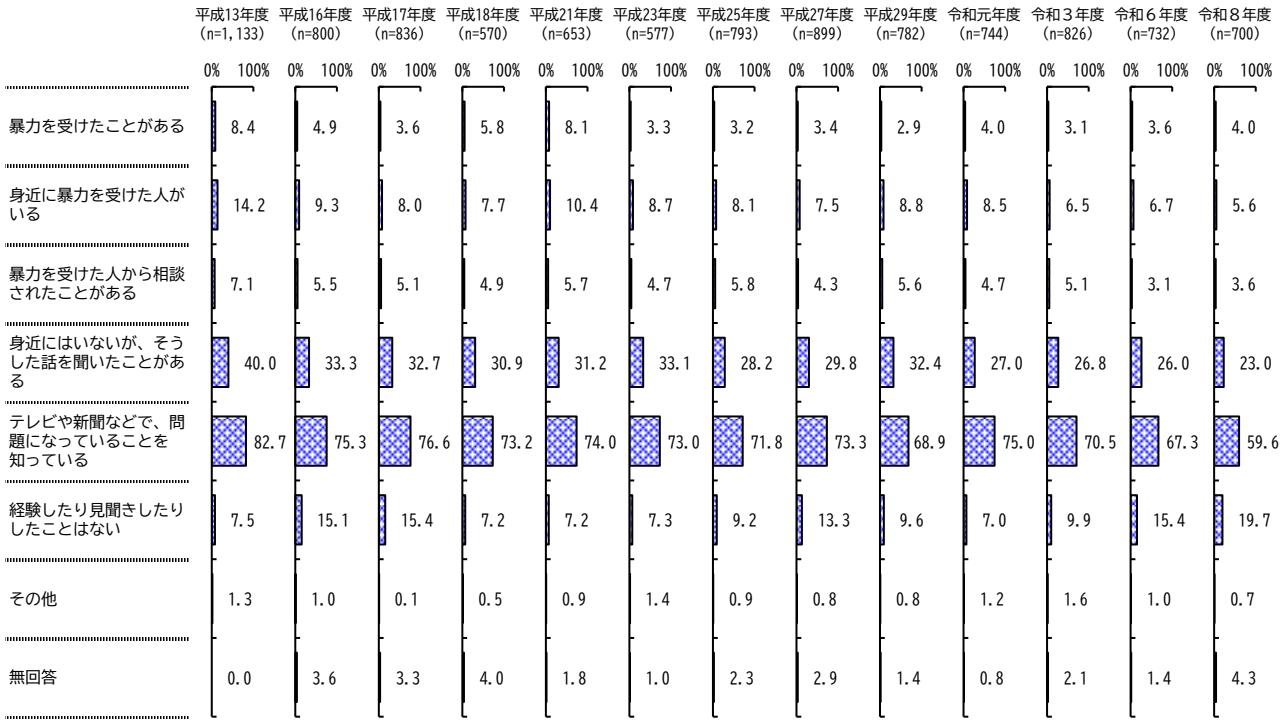
性別でみると、「暴力を受けたことがある」は男性が1.5%、女性が5.9%となっています。

経年比較でみると、「テレビや新聞などで、問題になっていることを知っている」の割合が過去最低となっています。また、「経験したり見聞きしたりしたことはない」が前回調査より高くなっています。

【全体・性別】



【経年比較】



※「経験したり見聞きしたりしたことはない」は令和６年度まで「経験したり見聞きしたことはない」

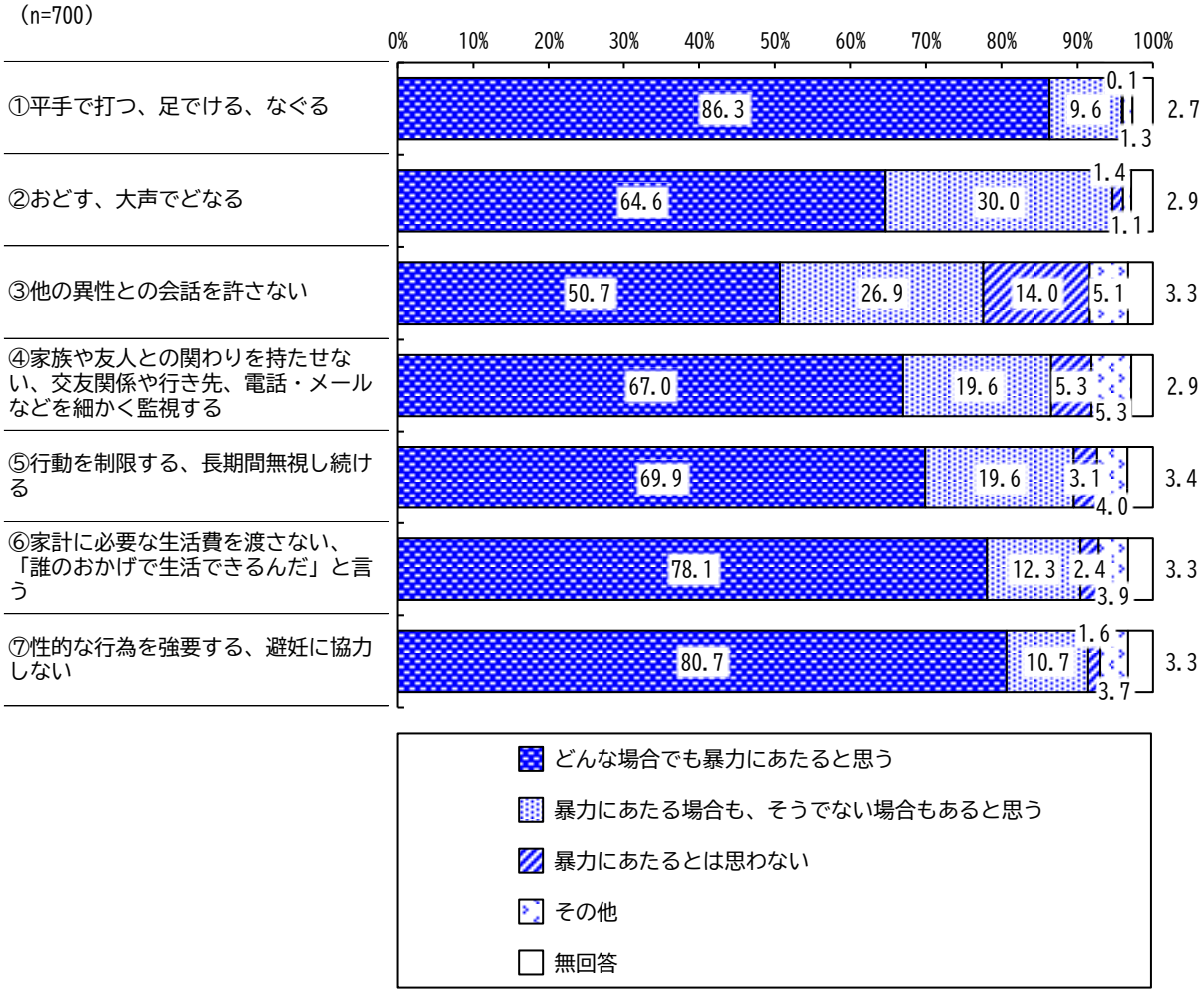
2. ドメスティック・バイオレンスだと思う行為

問９－２　あなたは、次のようなことが夫婦・恋人など親しい間柄にあるパートナー間で行われた場合、それを暴力（ドメスティック・バイオレンス）だと思いますか。①～⑦のそれぞれについて、「１」から「４」のうちあなたの考えに近い番号をお選びください。なお、ここでの「夫婦」には、婚姻届を出していない事実婚や別居中の夫婦も含みます。(それぞれ１つに○)

「平手で打つ、足でける、なぐる」「性的な行為を強要する、避妊に協力しない」は8割以上が暴力だと思う行為。

以下の７つの行為について夫婦・恋人など親しい間柄にあるパートナー間で行われた場合、それを暴力（ドメスティック・バイオレンス）だと思うかをたずねたところ、「どんな場合でも暴力にあたると思う」は、「①平手で打つ、足でける、なぐる」、「⑦性的な行為を強要する、避妊に協力しない」が８割以上となっています。

【全体】



①平手で打つ、足でける、なぐる

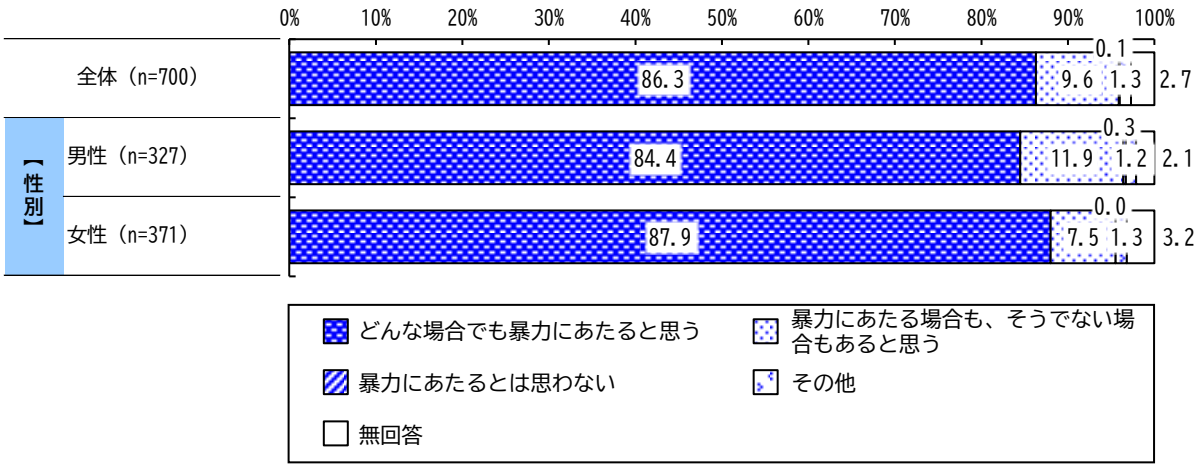
＜平手で打つ、足でける、なぐる＞は「どんな場合でも暴力にあたると思う」が86.3%。

【①平手で打つ、足でける、なぐる】は「どんな場合でも暴力にあたると思う」が86.3%、「暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う」が9.6%、「暴力にあたるとは思わない」が0.1%となっています。

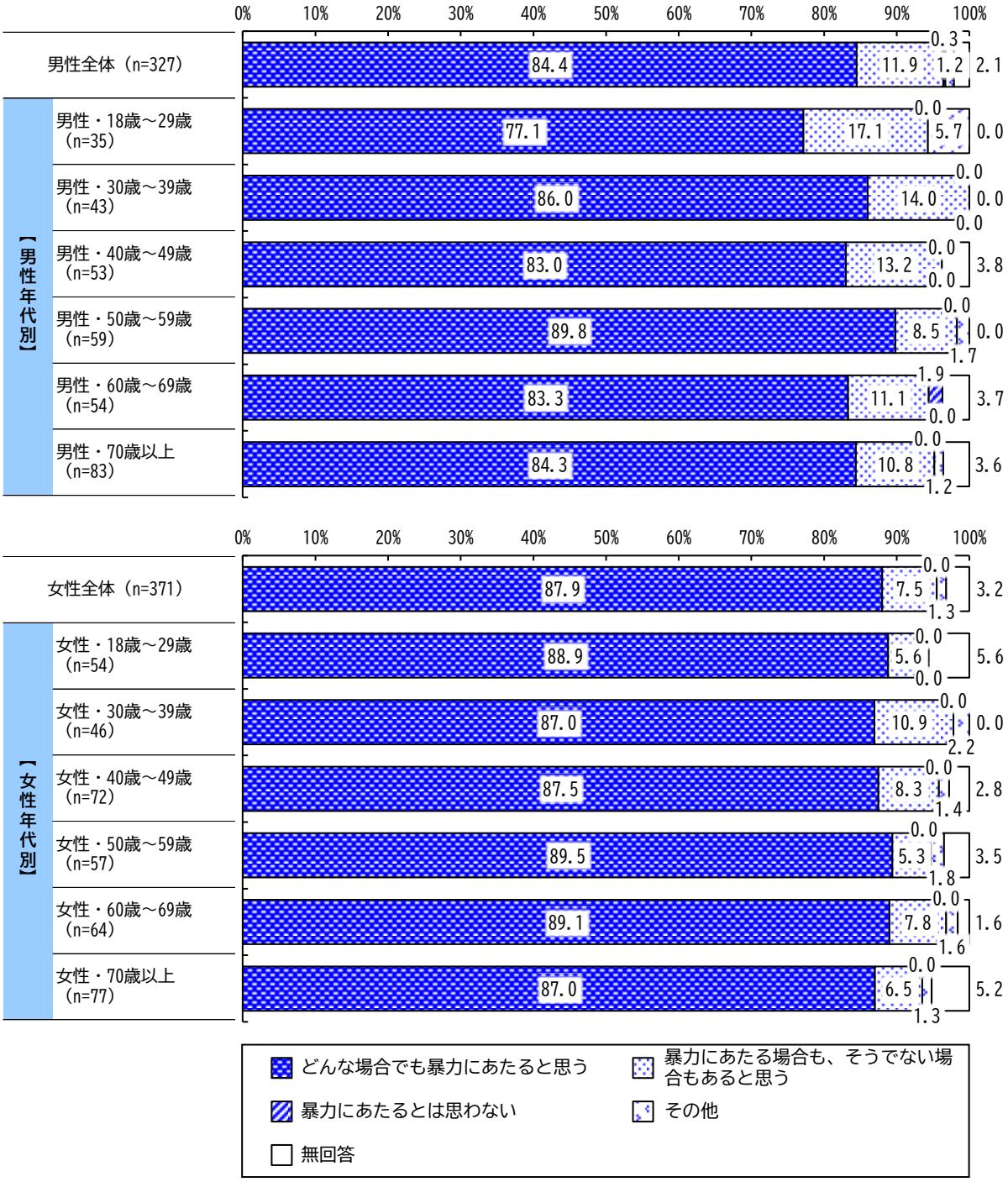
性別でみると、「どんな場合でも暴力にあたると思う」は男性が84.4%、女性が87.9%となっています。

性・年代別でみると、男性の18歳～29歳を除く年代、女性の全ての年代で「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合が８割以上となっています。また、18歳～29歳で「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合は、男性は77.1%、女性は88.9%と11.8ポイントの差があります。

【全体・性別】



【性・年代別】


0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
男性全体（n=327）
84.4
11.9
0.3
1.2
2.1
【男性年代別】
男性・18歳～29歳（n=35）
77.1
17.1
0.0
5.7
0.0
男性・30歳～39歳（n=43）
86.0
14.0
0.0
0.0
0.0
男性・40歳～49歳（n=53）
83.0
13.2
0.0
0.0
3.8
男性・50歳～59歳（n=59）
89.8
8.5
0.0
0.0
1.7
男性・60歳～69歳（n=54）
83.3
11.1
1.9
0.0
3.7
男性・70歳以上（n=83）
84.3
10.8
0.0
1.2
3.6
女性全体（n=371）
87.9
7.5
0.0
1.3
3.2
【女性年代別】
女性・18歳～29歳（n=54）
88.9
5.6
0.0
0.0
5.6
女性・30歳～39歳（n=46）
87.0
10.9
0.0
2.2
0.0
女性・40歳～49歳（n=72）
87.5
8.3
0.0
1.4
2.8
女性・50歳～59歳（n=57）
89.5
5.3
0.0
1.8
3.5
女性・60歳～69歳（n=64）
89.1
7.8
0.0
1.6
1.6
女性・70歳以上（n=77）
87.0
6.5
0.0
1.3
5.2
どんな場合でも暴力にあたると思う
暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う
暴力にあたるとは思わない
その他
無回答

②おどす、大声でどなる

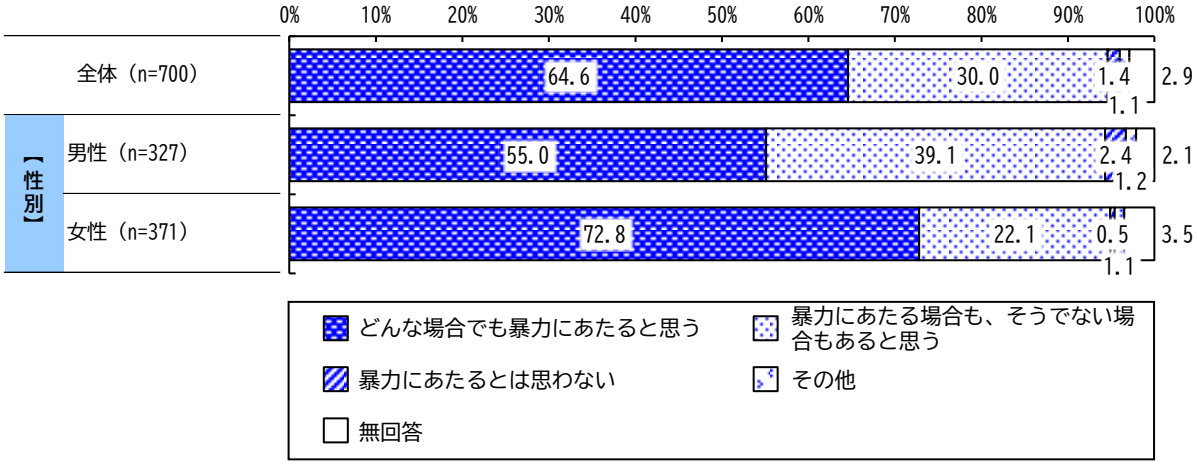
＜おどす、大声でどなる＞は「どんな場合でも暴力にあたると思う」が64.6%。

【②おどす、大声でどなる】「どんな場合でも暴力にあたると思う」が64.6%、「暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う」が30.0%、「暴力にあたるとは思わない」が1.4%となっています。

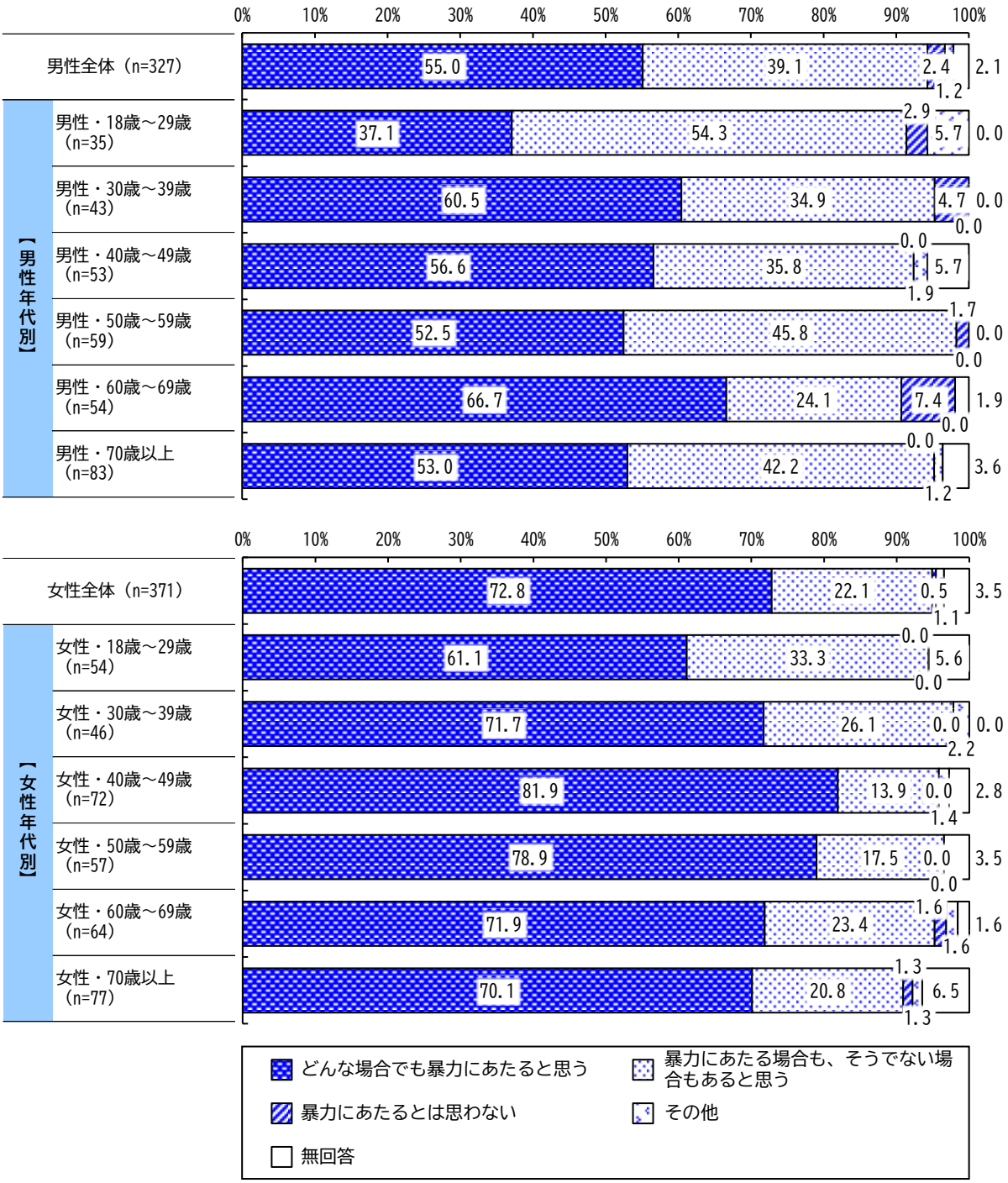
性別でみると、「どんな場合でも暴力にあたると思う」は男性が55.0%、女性が72.8%となっており、男女間で差がみられます。

性・年代別でみると、女性の40歳～49歳で「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合が８割以上となっています。また、18歳～29歳、40歳～49歳、50歳～59歳で「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合が男性と女性で20ポイント以上の差となっています。

【全体・性別】



【性・年代別】


0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
男性全体（n=327）
55.0
39.1
2.4
1.2
2.1
【男性年代別】
男性・18歳～29歳（n=35）
37.1
54.3
2.9
5.7
0.0
男性・30歳～39歳（n=43）
60.5
34.9
4.7
0.0
0.0
男性・40歳～49歳（n=53）
56.6
35.8
0.0
5.7
1.9
男性・50歳～59歳（n=59）
52.5
45.8
1.7
0.0
0.0
男性・60歳～69歳（n=54）
66.7
24.1
7.4
0.0
1.9
男性・70歳以上（n=83）
53.0
42.2
0.0
1.2
3.6
女性全体（n=371）
72.8
22.1
0.5
1.1
3.5
【女性年代別】
女性・18歳～29歳（n=54）
61.1
33.3
0.0
5.6
0.0
女性・30歳～39歳（n=46）
71.7
26.1
0.0
2.2
0.0
女性・40歳～49歳（n=72）
81.9
13.9
0.0
1.4
2.8
女性・50歳～59歳（n=57）
78.9
17.5
0.0
0.0
3.5
女性・60歳～69歳（n=64）
71.9
23.4
1.6
1.6
1.6
女性・70歳以上（n=77）
70.1
20.8
1.3
1.3
6.5
どんな場合でも暴力にあたると思う
暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う
暴力にあたるとは思わない
その他
無回答

③他の異性との会話を許さない

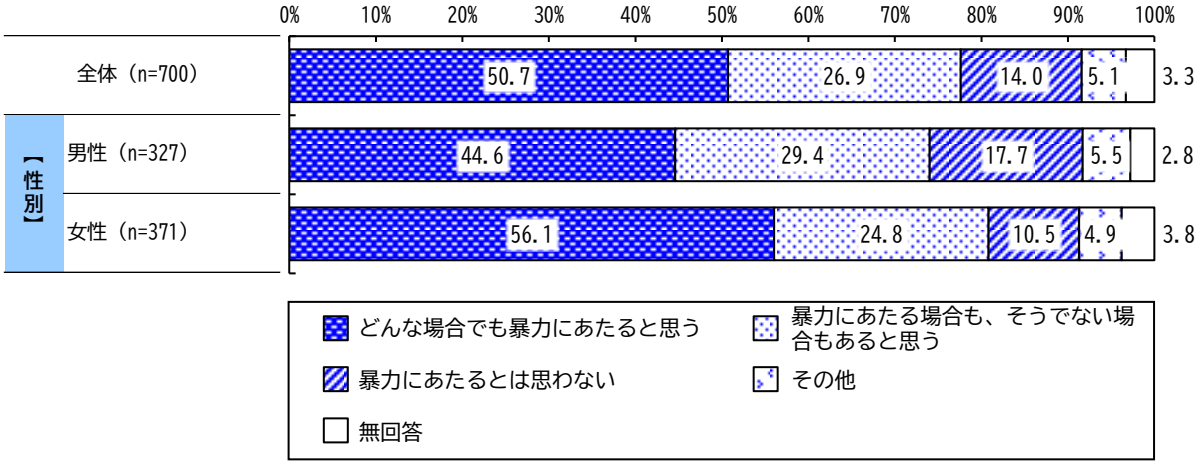
＜他の異性との会話を許さない＞は「どんな場合でも暴力にあたると思う」が50.7%、

【③他の異性との会話を許さない】は「どんな場合でも暴力にあたると思う」が50.7%、「暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う」が26.9%、「暴力にあたるとは思わない」が14.0%となっています。

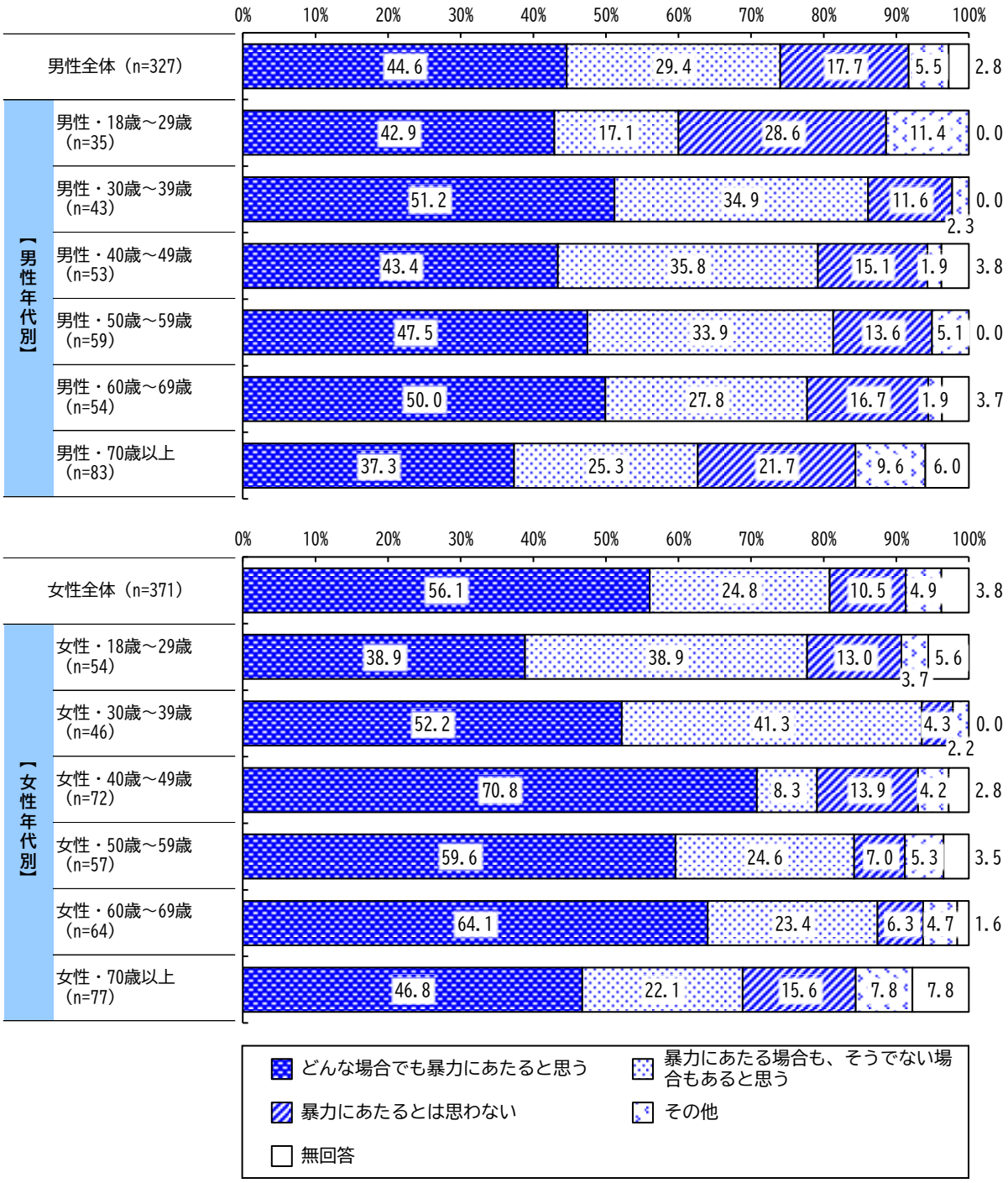
性別でみると、「どんな場合でも暴力にあたると思う」は男性が44.6%、女性が56.1%となっており、男女間で差がみられます。

性・年代別でみると、女性の40歳～49歳で「どんな場合でも暴力にあたると思う」、男性の18歳～29歳で「暴力にあたるとは思わない」の割合が他の年代より高くなっています。また、40歳～49歳で「どんな場合でも暴力にあたると思う」が男性で43.4%、女性で70.8%と27.4ポイントの差があります。

【全体・性別】



【性・年代別】


0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
男性全体（n=327）
44.6
29.4
17.7
5.5
2.8
【男性年代別】
男性・18歳～29歳（n=35）
42.9
17.1
28.6
11.4
0.0
男性・30歳～39歳（n=43）
51.2
34.9
11.6
0.0
2.3
男性・40歳～49歳（n=53）
43.4
35.8
15.1
1.9
3.8
男性・50歳～59歳（n=59）
47.5
33.9
13.6
5.1
0.0
男性・60歳～69歳（n=54）
50.0
27.8
16.7
1.9
3.7
男性・70歳以上（n=83）
37.3
25.3
21.7
9.6
6.0
女性全体（n=371）
56.1
24.8
10.5
4.9
3.8
【女性年代別】
女性・18歳～29歳（n=54）
38.9
38.9
13.0
3.7
5.6
女性・30歳～39歳（n=46）
52.2
41.3
4.3
2.2
0.0
女性・40歳～49歳（n=72）
70.8
8.3
13.9
4.2
2.8
女性・50歳～59歳（n=57）
59.6
24.6
7.0
5.3
3.5
女性・60歳～69歳（n=64）
64.1
23.4
6.3
4.7
1.6
女性・70歳以上（n=77）
46.8
22.1
15.6
7.8
7.8
どんな場合でも暴力にあたると思う
暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う
暴力にあたるとは思わない
その他
無回答

④家族や友人との関わりを持たせない、交友関係や行き先、電話・メールなどを細かく監視する

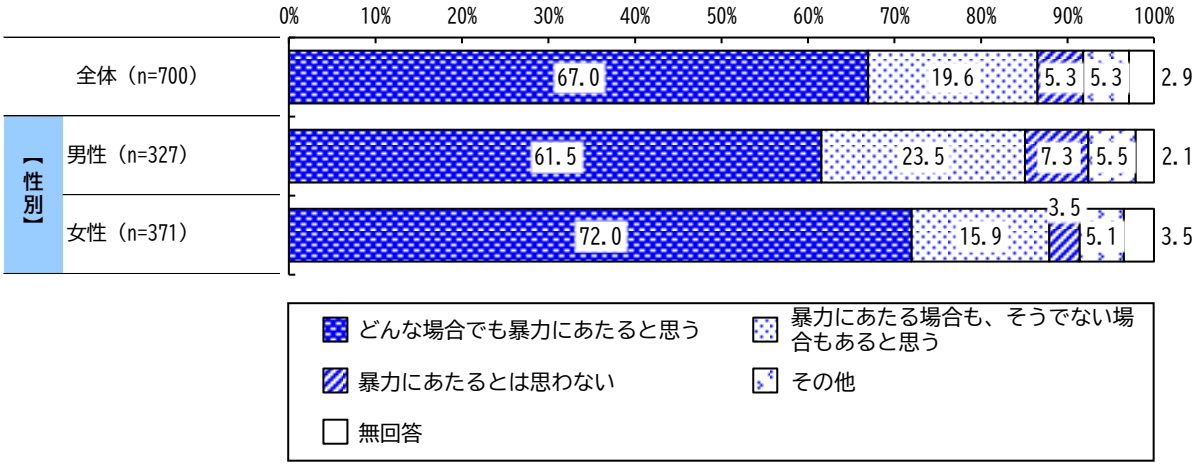
＜家族や友人との関わりを持たせない、交友関係や行き先、電話･メールなどを細かく監視する＞は
「どんな場合でも暴力にあたると思う」が67.0%。

【④家族や友人との関わりを持たせない、交友関係や行き先、電話・メールなどを細かく監視する】は「どんな場合でも暴力にあたると思う」が67.0%､「暴力にあたる場合も､そうでない場合もあると思う」が19.6%､「暴力にあたるとは思わない」が5.3%となっています。

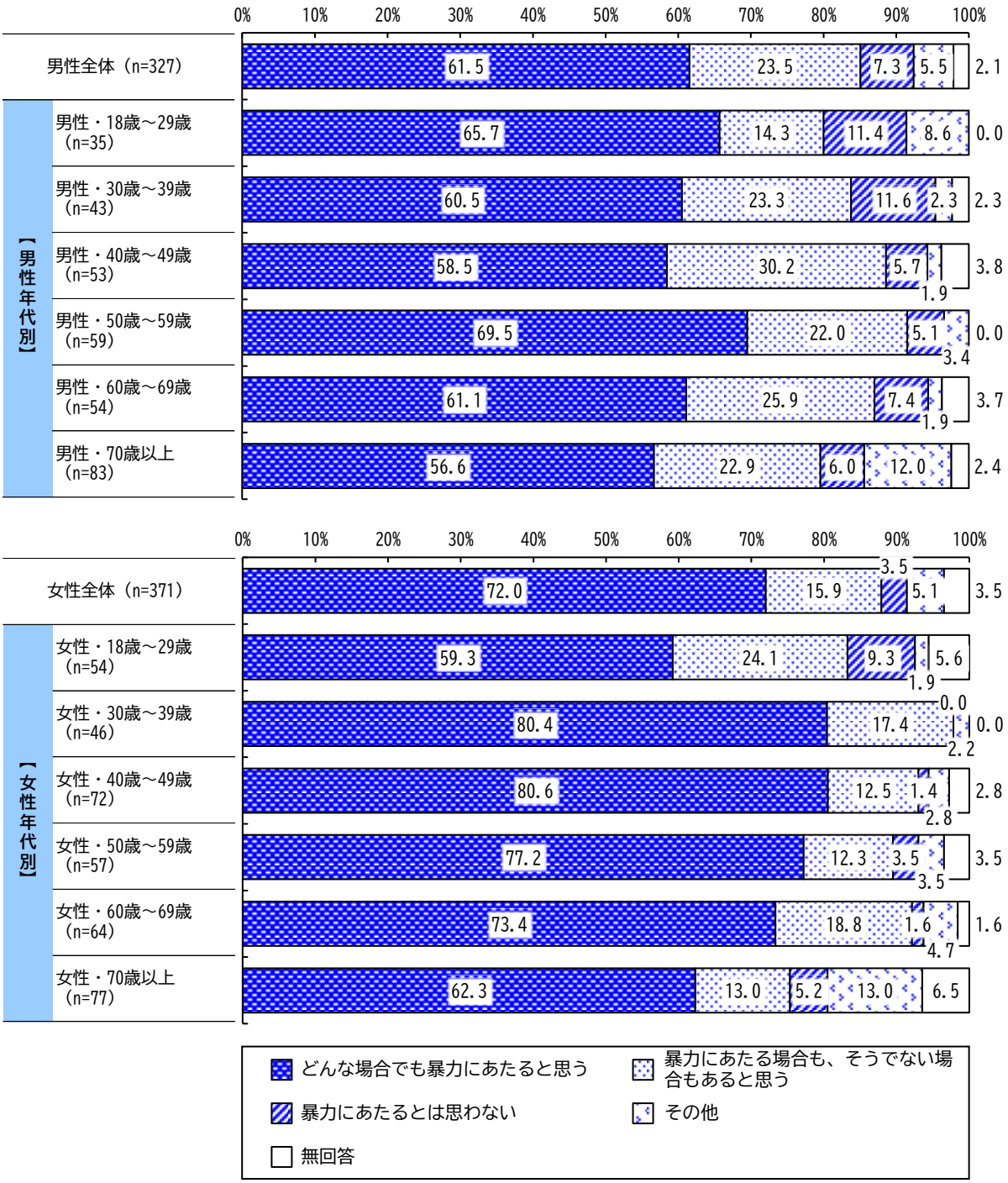
性別でみると､「どんな場合でも暴力にあたると思う」は男性が61.5%､女性が72.0%となっており､男女間で差がみられます。

性・年代別でみると､女性の30歳～39歳､40歳～49歳で「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合が８割以上となっています。

【全体・性別】



【性・年代別】


0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
男性全体（n=327）
61.5
23.5
7.3
5.5
2.1
【男性年代別】
男性・18歳～29歳（n=35）
65.7
14.3
11.4
8.6
0.0
男性・30歳～39歳（n=43）
60.5
23.3
11.6
2.3
2.3
男性・40歳～49歳（n=53）
58.5
30.2
5.7
1.9
3.8
男性・50歳～59歳（n=59）
69.5
22.0
5.1
3.4
0.0
男性・60歳～69歳（n=54）
61.1
25.9
7.4
1.9
3.7
男性・70歳以上（n=83）
56.6
22.9
6.0
12.0
2.4
女性全体（n=371）
72.0
15.9
3.5
5.1
3.5
【女性年代別】
女性・18歳～29歳（n=54）
59.3
24.1
9.3
1.9
5.6
女性・30歳～39歳（n=46）
80.4
17.4
0.0
2.2
0.0
女性・40歳～49歳（n=72）
80.6
12.5
1.4
2.8
2.8
女性・50歳～59歳（n=57）
77.2
12.3
3.5
3.5
3.5
女性・60歳～69歳（n=64）
73.4
18.8
1.6
4.7
1.6
女性・70歳以上（n=77）
62.3
13.0
5.2
13.0
6.5
どんな場合でも暴力にあたると思う
暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う
暴力にあたるとは思わない
その他
無回答

⑤行動を制限する、長期間無視し続ける

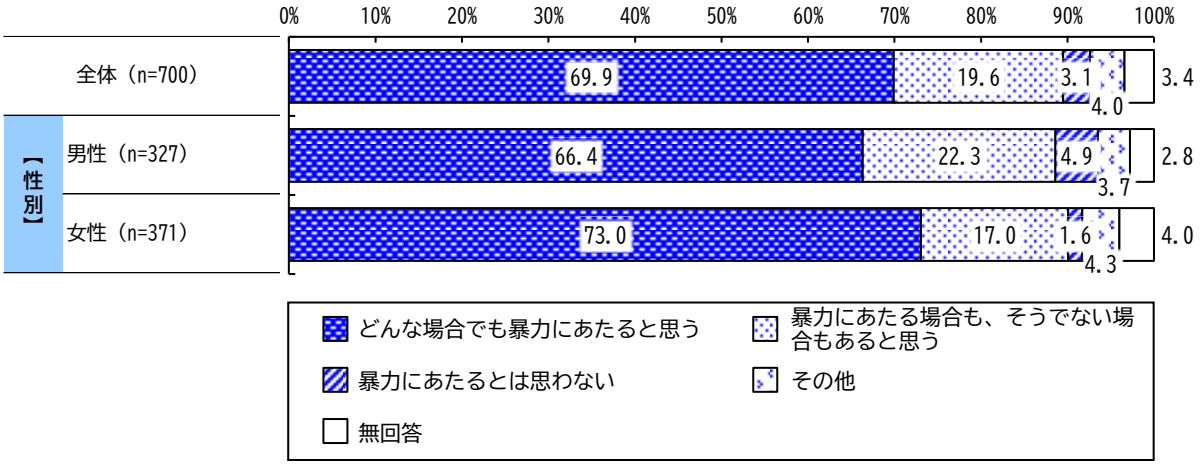
＜行動を制限する、長期間無視し続ける＞は「どんな場合でも暴力にあたると思う」が69.9%。

【⑤行動を制限する、長期間無視し続ける】は「どんな場合でも暴力にあたると思う」が69.9%、「暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う」が19.6%、「暴力にあたるとは思わない」が3.1%となっています。

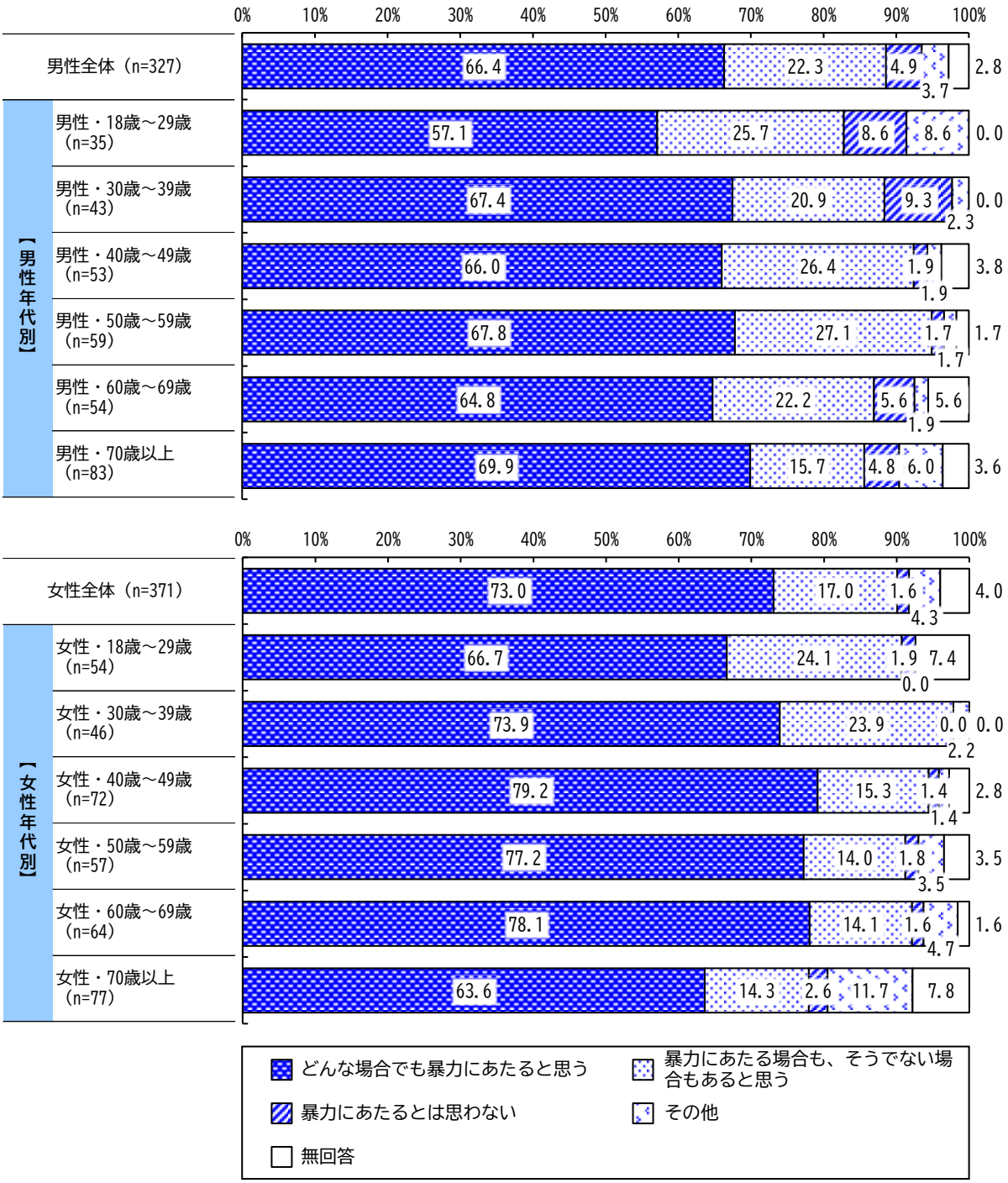
性別でみると、「どんな場合でも暴力にあたると思う」は男性が66.4%、女性が73.0%となっています。

性・年代別でみると、40歳～49歳、60歳～69歳で「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合が男性と女性で10ポイント以上の差があります。

【全体・性別】



【性・年代別】


0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
男性全体（n=327）
66.4
22.3
4.9
3.7
2.8
【男性年代別】
男性・18歳～29歳（n=35）
57.1
25.7
8.6
8.6
0.0
男性・30歳～39歳（n=43）
67.4
20.9
9.3
2.3
0.0
男性・40歳～49歳（n=53）
66.0
26.4
1.9
1.9
3.8
男性・50歳～59歳（n=59）
67.8
27.1
1.7
1.7
1.7
男性・60歳～69歳（n=54）
64.8
22.2
5.6
1.9
5.6
男性・70歳以上（n=83）
69.9
15.7
4.8
6.0
3.6
女性全体（n=371）
73.0
17.0
1.6
4.3
4.0
【女性年代別】
女性・18歳～29歳（n=54）
66.7
24.1
1.9
0.0
7.4
女性・30歳～39歳（n=46）
73.9
23.9
0.0
2.2
0.0
女性・40歳～49歳（n=72）
79.2
15.3
1.4
1.4
2.8
女性・50歳～59歳（n=57）
77.2
14.0
1.8
3.5
3.5
女性・60歳～69歳（n=64）
78.1
14.1
1.6
4.7
1.6
女性・70歳以上（n=77）
63.6
14.3
2.6
11.7
7.8
どんな場合でも暴力にあたると思う
暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う
暴力にあたるとは思わない
その他
無回答

⑥家計に必要な生活費を渡さない、「誰のおかげで生活できるんだ」と言う

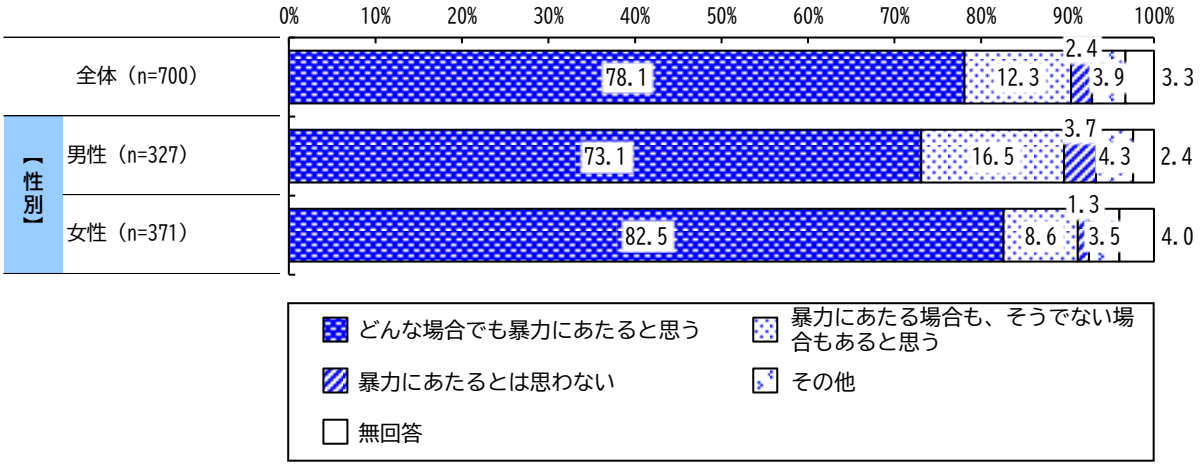
＜家計に必要な生活費を渡さない、「誰のおかげで生活できるんだ」と言う＞は
「どんな場合でも暴力にあたると思う」が78.1%。

【⑥家計に必要な生活費を渡さない、「誰のおかげで生活できるんだ」と言う】は「どんな場合でも暴力にあたると思う」が78.1%、「暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う」が12.3%、「暴力にあたるとは思わない」が2.4%となっています。

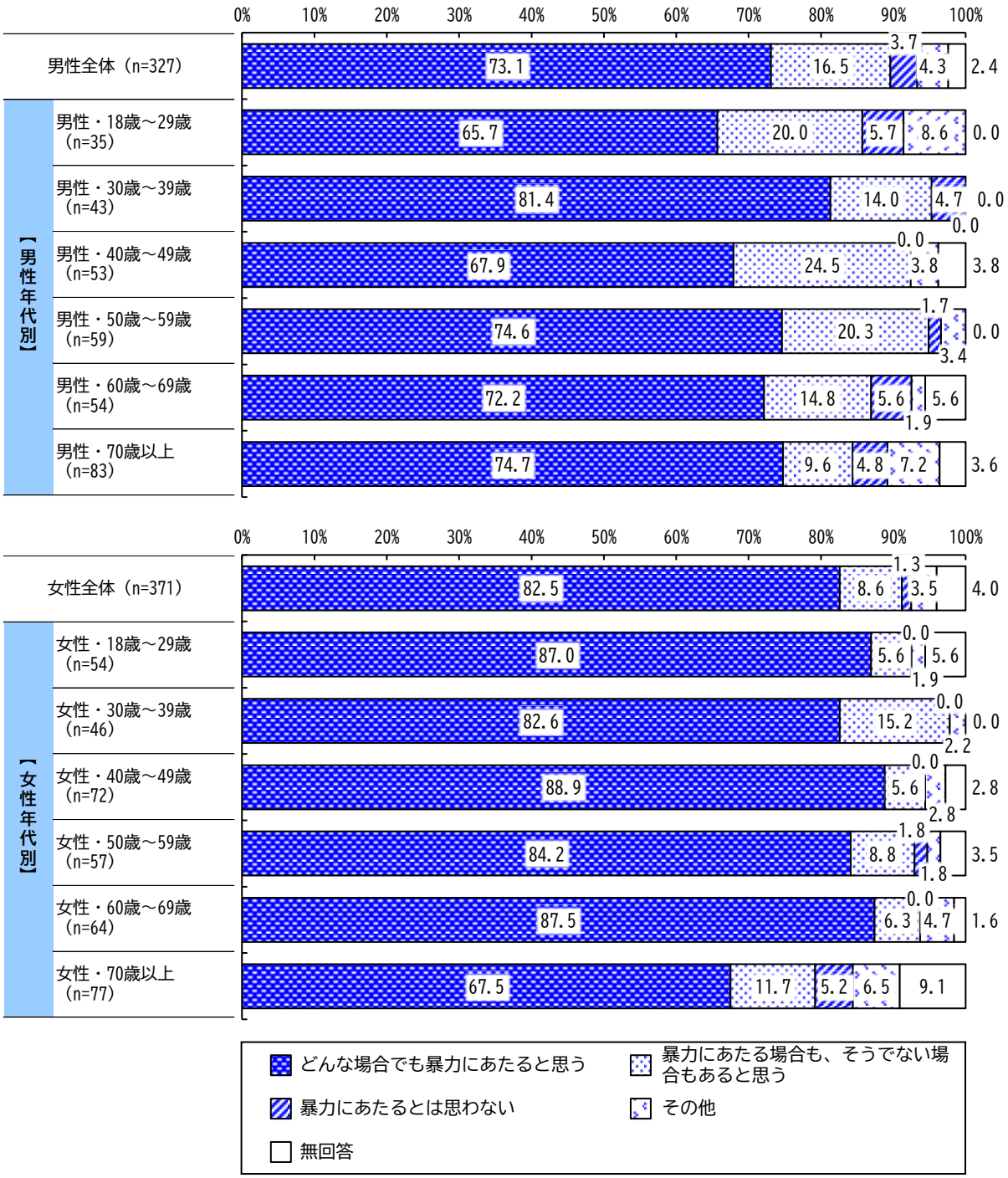
性別でみると、「どんな場合でも暴力にあたると思う」は男性が73.1%、女性が82.5%となっています。

性・年代別でみると、女性の70歳以上で「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合が他の年代に比べて低くなっています。また、18歳～29歳、40歳～49歳で「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合が男性と女性で20ポイント以上の差があります。

【全体・性別】



【性・年代別】


0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
男性全体（n=327）
73.1
16.5
3.7
4.3
2.4
【男性年代別】
男性・18歳～29歳（n=35）
65.7
20.0
5.7
8.6
0.0
男性・30歳～39歳（n=43）
81.4
14.0
4.7
0.0
男性・40歳～49歳（n=53）
67.9
24.5
0.0
3.8
3.8
男性・50歳～59歳（n=59）
74.6
20.3
1.7
3.4
0.0
男性・60歳～69歳（n=54）
72.2
14.8
5.6
5.6
1.9
男性・70歳以上（n=83）
74.7
9.6
4.8
7.2
3.6
女性全体（n=371）
82.5
8.6
1.3
3.5
4.0
【女性年代別】
女性・18歳～29歳（n=54）
87.0
5.6
0.0
5.6
1.9
女性・30歳～39歳（n=46）
82.6
15.2
0.0
2.2
0.0
女性・40歳～49歳（n=72）
88.9
5.6
0.0
2.8
2.8
女性・50歳～59歳（n=57）
84.2
8.8
1.8
1.8
3.5
女性・60歳～69歳（n=64）
87.5
6.3
0.0
4.7
1.6
女性・70歳以上（n=77）
67.5
11.7
5.2
6.5
9.1
どんな場合でも暴力にあたると思う
暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う
暴力にあたるとは思わない
その他
無回答

⑦性的な行為を強要する、避妊に協力しない

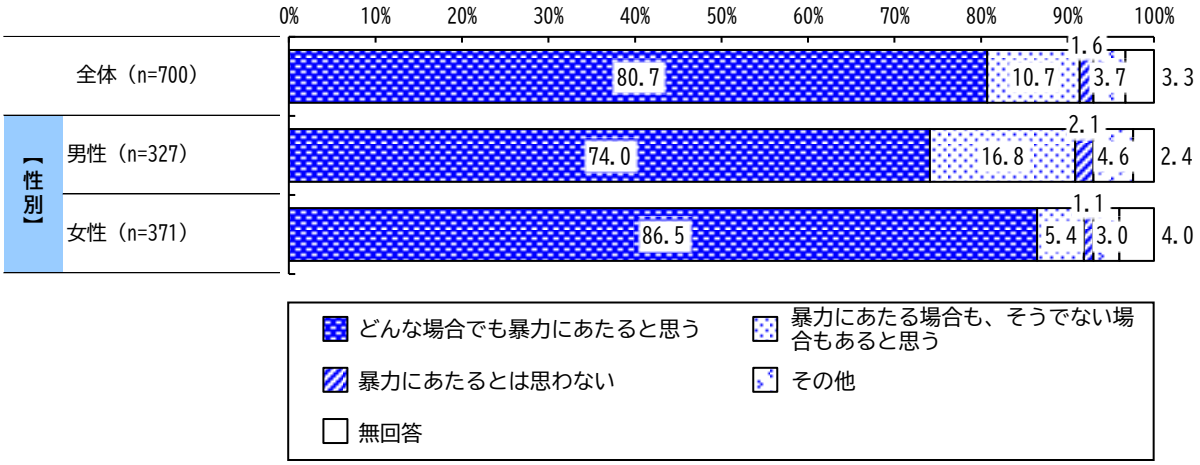
＜性的な行為を強要する、避妊に協力しない＞は「どんな場合でも暴力にあたると思う」が80.7%。

【⑦性的な行為を強要する、避妊に協力しない】は「どんな場合でも暴力にあたると思う」が80.7%、「暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う」が10.7%、「暴力にあたるとは思わない」が1.6%となっています。

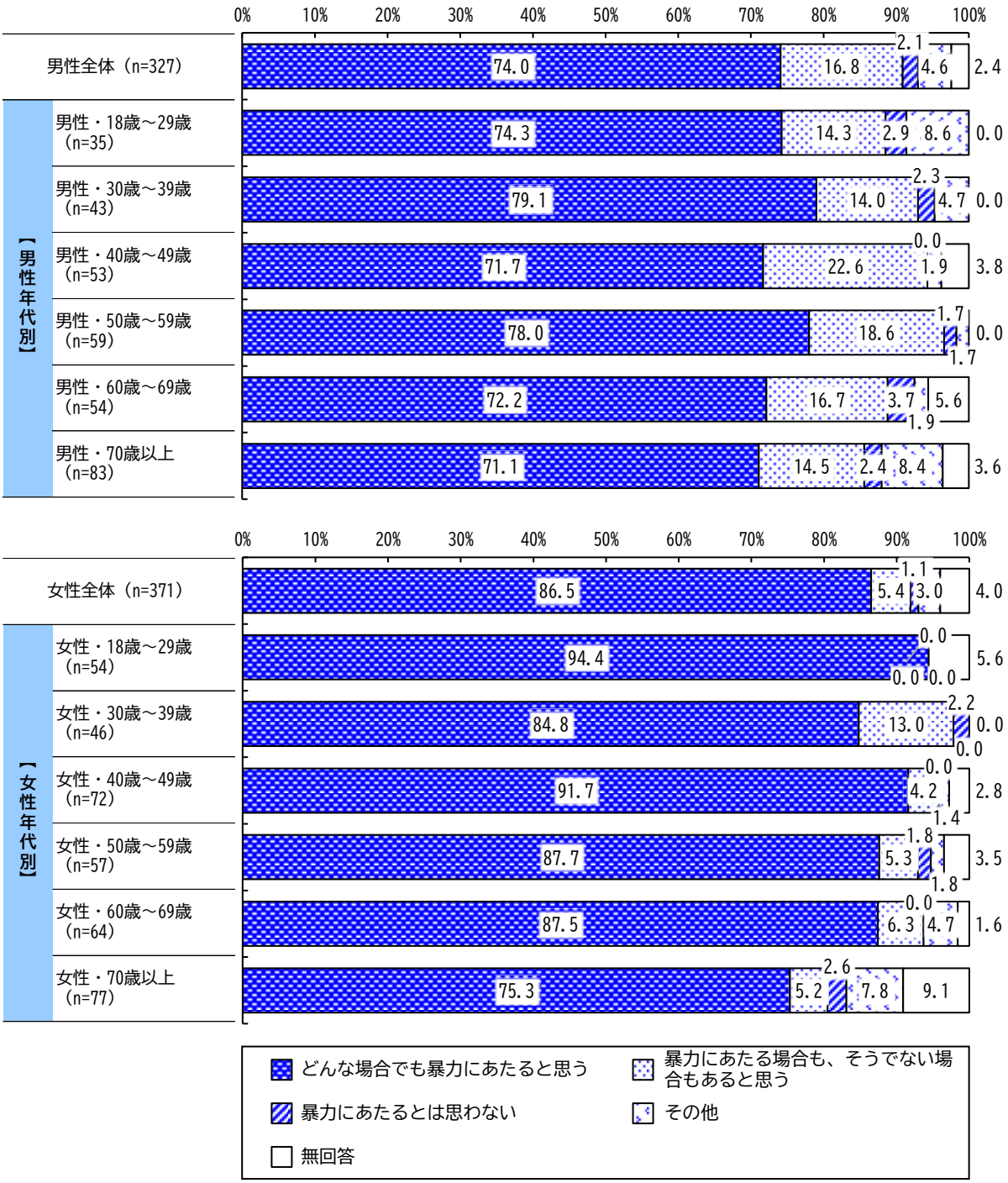
性別でみると、「どんな場合でも暴力にあたると思う」は男性が74.0%、女性が86.5%となっています。

性・年代別でみると、女性の18歳～29歳、40歳～49歳で「どんな場合でも暴力にあたると思う」が９割以上となり、男性と女性で約20ポイントの差となっています。

【全体・性別】



【性・年代別】


0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
男性全体（n=327）
74.0
16.8
2.1
4.6
2.4
【男性年代別】
男性・18歳～29歳（n=35）
74.3
14.3
2.9
8.6
0.0
男性・30歳～39歳（n=43）
79.1
14.0
2.3
4.7
0.0
男性・40歳～49歳（n=53）
71.7
22.6
0.0
1.9
3.8
男性・50歳～59歳（n=59）
78.0
18.6
1.7
0.0
1.7
男性・60歳～69歳（n=54）
72.2
16.7
3.7
5.6
1.9
男性・70歳以上（n=83）
71.1
14.5
2.4
8.4
3.6
女性全体（n=371）
86.5
5.4
1.1
3.0
4.0
【女性年代別】
女性・18歳～29歳（n=54）
94.4
0.0
0.0
0.0
5.6
女性・30歳～39歳（n=46）
84.8
13.0
2.2
0.0
0.0
女性・40歳～49歳（n=72）
91.7
4.2
0.0
1.4
2.8
女性・50歳～59歳（n=57）
87.7
5.3
1.8
1.8
3.5
女性・60歳～69歳（n=64）
87.5
6.3
0.0
4.7
1.6
女性・70歳以上（n=77）
75.3
5.2
2.6
7.8
9.1
どんな場合でも暴力にあたると思う
暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う
暴力にあたるとは思わない
その他
無回答

３．ドメスティック・バイオレンスをなくすために重要なこと

問10　「夫婦・恋人など親しい間柄にあるパートナー間の暴力」（ドメスティック・バイオレンス）をなくすためには、どうしたらよいとお考えになりますか。あなたが、重要であるとお考えのものをお選びください。（３つまでに○）

暴力をなくすために重要なことは「被害者のための相談機関や保護施設を整備する」が52.0%。

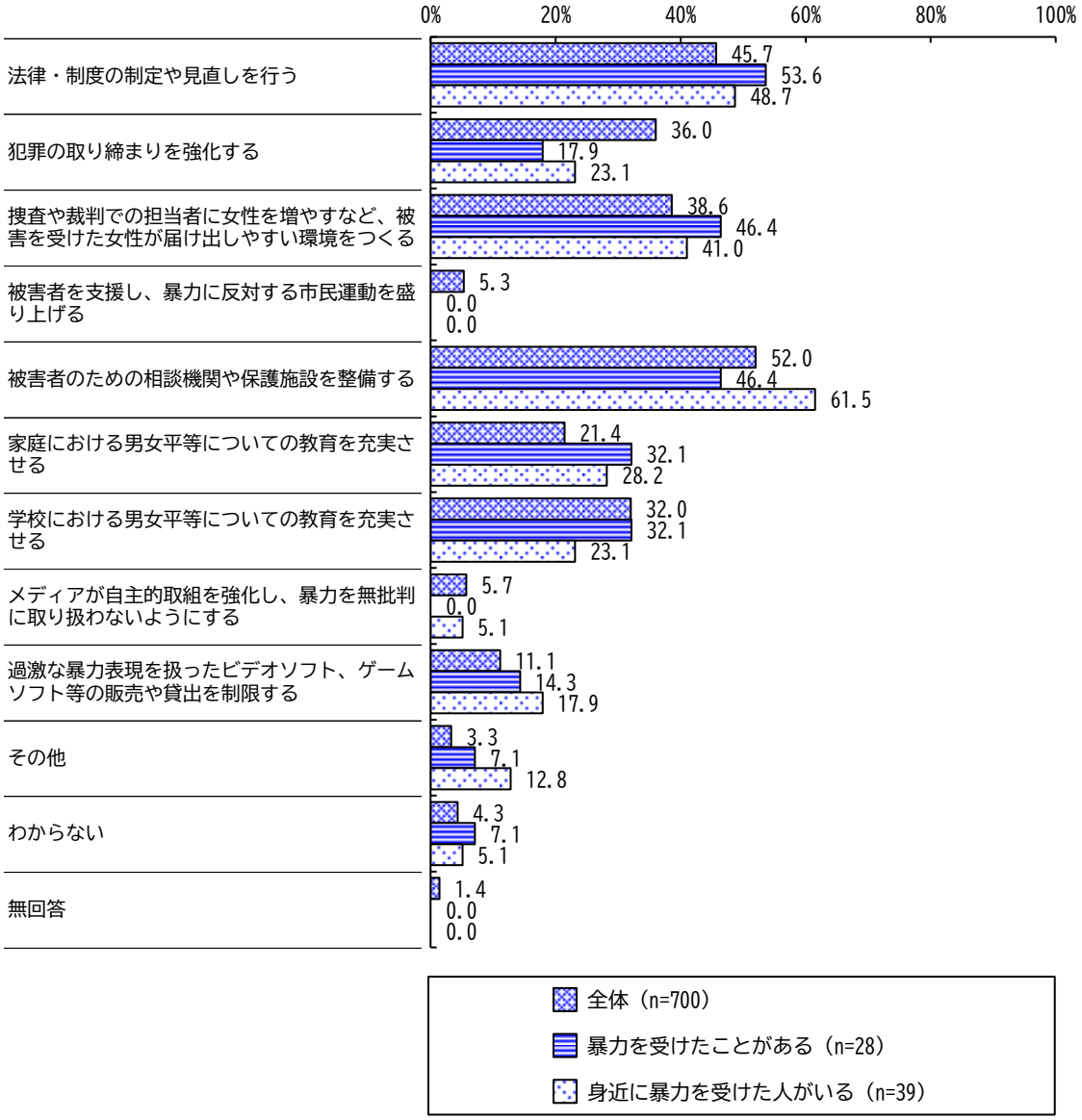
ドメスティック・バイオレンスをなくすためには、どうしたらよいと考えるかについては「被害者のための相談機関や保護施設を整備する」が52.0%と最も高く、次に「法律・制度の制定や見直しを行う」が45.7%、「捜査や裁判での担当者に女性を増やすなど、被害を受けた女性が届け出しやすい環境をつくる」が38.6%となっています。

過去１年間でのドメスティック・バイオレンスの経験・見聞別でみると、「暴力を受けたことがある」では「法律・制度の制定や見直しを行う」が53.6%と最も高く、次に「捜査や裁判での担当者に女性を増やすなど、被害を受けた女性が届け出しやすい環境をつくる」、「被害者のための相談機関や保護施設を整備する」がともに46.4%となっています。「身近に暴力を受けた人がいる」では「被害者のための相談機関や保護施設を整備する」が61.5%と最も高く、次に「法律・制度の制定や見直しを行う」が48.7%となっています。また、「暴力を受けたことがある」と「身近に暴力を受けた人がいる」を比較すると、「被害者のための相談機関や保護施設を整備する」で15.1ポイント差、「学校における男女平等についての教育を充実させる」で9.0ポイント差、「捜査や裁判での担当者に女性を増やすなど、被害を受けた女性が届け出しやすい環境をつくる」で5.4ポイント差などとなっています。

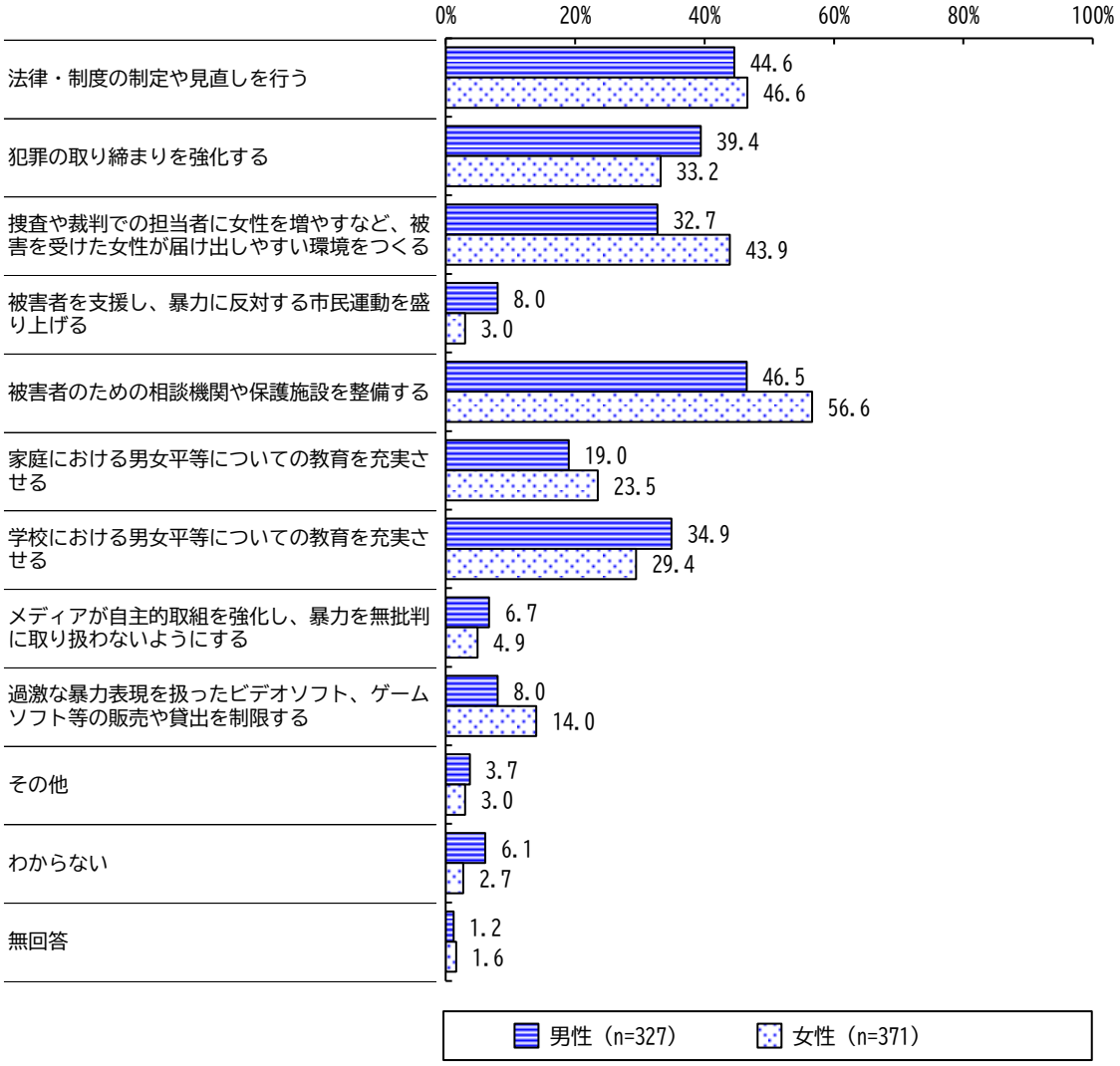
性別でみると、男性、女性ともに「被害者のための相談機関や保護施設を整備する」が最も高く、次に「法律・制度の制定や見直しを行う」となっています。また、女性が男性より高い割合となっている項目は「捜査や裁判での担当者に女性を増やすなど、被害を受けた女性が届け出しやすい環境をつくる」(11.2ポイント差)、「被害者のための相談機関や保護施設を整備する」(10.1ポイント差)などとなっています。

経年比較でみると、「法律・制度の制定や見直しを行う」の割合が前回調査より高くなっています。また、「被害者のための相談機関や保護施設を整備する」が５割前後と高い割合を維持しています。

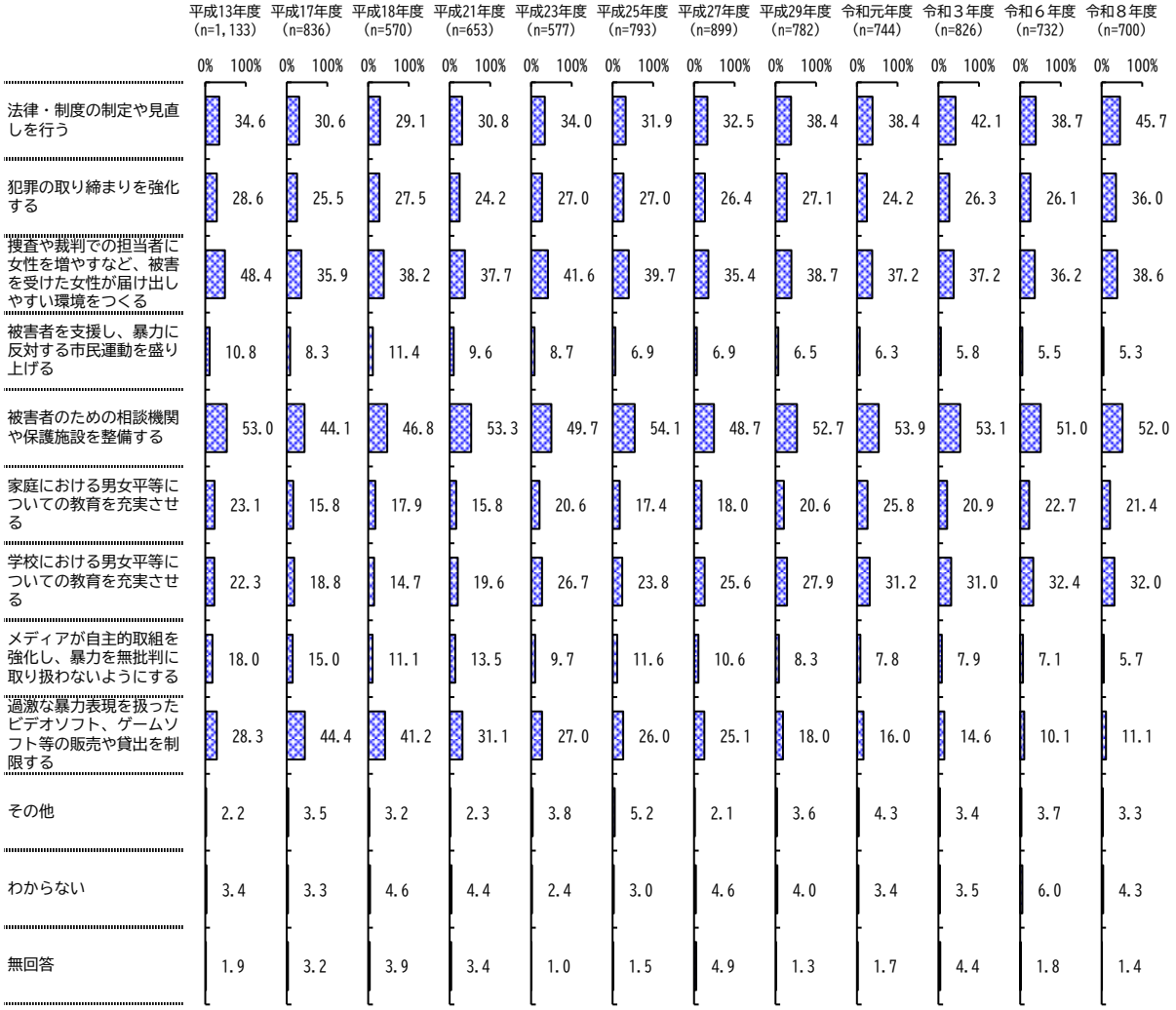
【全体・過去１年間でのドメスティック・バイオレンスの経験・見聞別】



【性別】


0%
20%
40%
60%
80%
100%
法律・制度の制定や見直しを行う
44.6
46.6
犯罪の取り締まりを強化する
39.4
33.2
捜査や裁判での担当者に女性を増やすなど、被害を受けた女性が届け出しやすい環境をつくる
32.7
43.9
被害者を支援し、暴力に反対する市民運動を盛り上げる
8.0
3.0
被害者のための相談機関や保護施設を整備する
46.5
56.6
家庭における男女平等についての教育を充実させる
19.0
23.5
学校における男女平等についての教育を充実させる
34.9
29.4
メディアが自主的取組を強化し、暴力を無批判に取り扱わないようにする
6.7
4.9
過激な暴力表現を扱ったビデオソフト、ゲームソフト等の販売や貸出を制限する
8.0
14.0
その他
3.7
3.0
わからない
6.1
2.7
無回答
1.2
1.6
男性（n=327）
女性（n=371）

【経年比較】



※「捜査や裁判での担当者に女性を増やすなど、被害を受けた女性が届け出しやすい環境をつくる」は令和６年度まで「捜査や裁判での担当者に女性を増やすなど、被害を受けた女性が届けやすい環境をつくる」

４　男女が共に子育てや介護等に主体的に関わることができる環境について

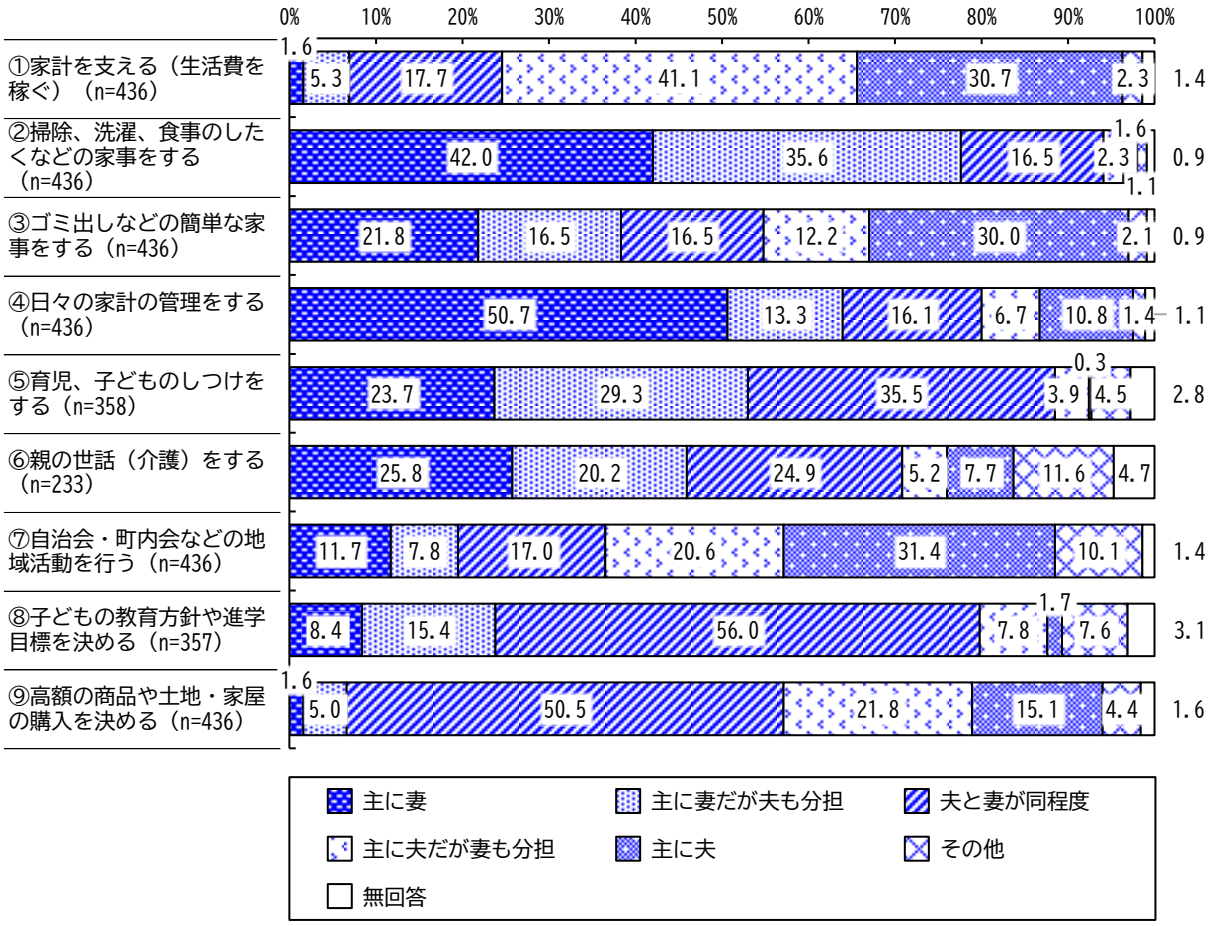
１．家庭での役割分担

問11　現在、配偶者（事実婚・パートナーを含む）のいる方に伺います。
あなたのご家庭では、次にあげる家庭での役割を、主にどなたが担っていますか。（それぞれ１つに○）

「夫は外（家計を支える、地域活動を行う）、妻は家庭（家事や家計の管理、育児やしつけ）」という性別役割分業の状況がみられる。

家庭での役割分担についてたずねたところ、『主に妻』（「主に妻」＋「主に妻だが夫も分担」）の割合の高い項目は、【②掃除、洗濯、食事のしたくなどの家事をする】が77.6%、【④日々の家計の管理をする】が64.0%、【⑤育児、子どものしつけをする】が53.0%などとなっています。『主に夫』（「主に夫」＋「主に夫だが妻も分担」）の割合の高い項目は、【①家計を支える（生活費を稼ぐ）】が71.8%、【⑦自治会・町内会などの地域活動を行う】が52.0%などとなっています。

「夫と妻が同程度」の割合が高い項目は【⑧子どもの教育方針や進学目標を決める】が56.0%、【⑨高額の商品や土地・家屋の購入を決める】が50.5%となっています。



※選択肢は「主にあなた」「主にあなただが配偶者も分担」「あなたと配偶者が同程度」「主に配偶者だがあなたも分担」「主に配偶者」だが、集計上、男性の場合は「あなた」を「夫」に「配偶者」を妻に、女性の場合は「あなた」を「妻」に、「配偶者」を「夫」に変換しています。

※⑤⑥⑧については、他のグラフと比較のため、集計上「同居の子どもや親がいない」を除外して集計しています。

①家計を支える（生活費を稼ぐ）

＜家計を支える＞は『主に夫』が71.8%

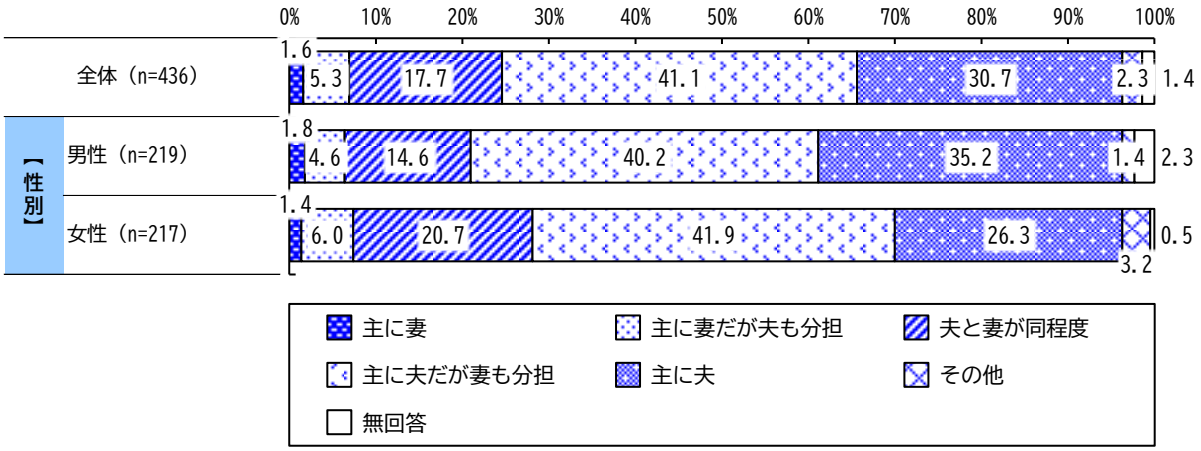
【①家計を支える（生活費を稼ぐ）】は『主に妻』（「主に妻」＋「主に妻だが夫も分担」）が6.9%、「夫と妻が同程度」が17.7%、『主に夫』（「主に夫」＋「主に夫だが妻も分担」）が71.8%となっています。

性別でみると、『主に夫』は男性で75.4%、女性で68.2%となっています。

性・年代別でみると、男性は『主にあなた』（「主にあなた」＋「主にあなただが配偶者も分担」）の割合が30歳～39歳以上で、女性は『主に配偶者』（「主に配偶者」＋「主に配偶者だがあなたも分担」）の割合がすべての年代で高くなっています。また、男性の40歳～49歳、50歳～59歳で「あなたと配偶者が同程度」の割合が他の年代に比べて低くなっています。

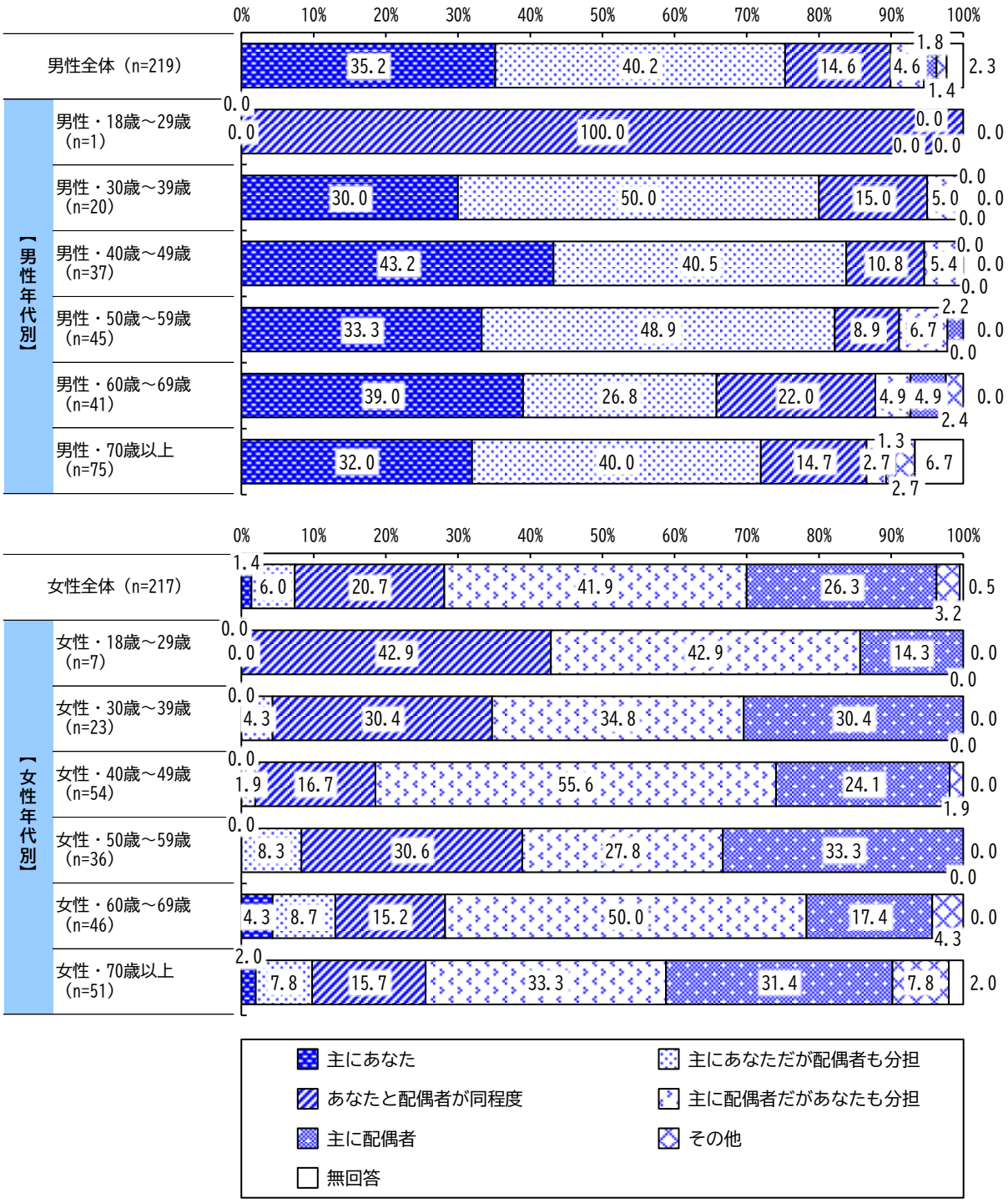
経年比較でみると、『主に夫』が前回調査より減少したものの、７割以上を維持しています。また、「夫と妻が同程度」が前回調査より増加しています。

【全体・性別】

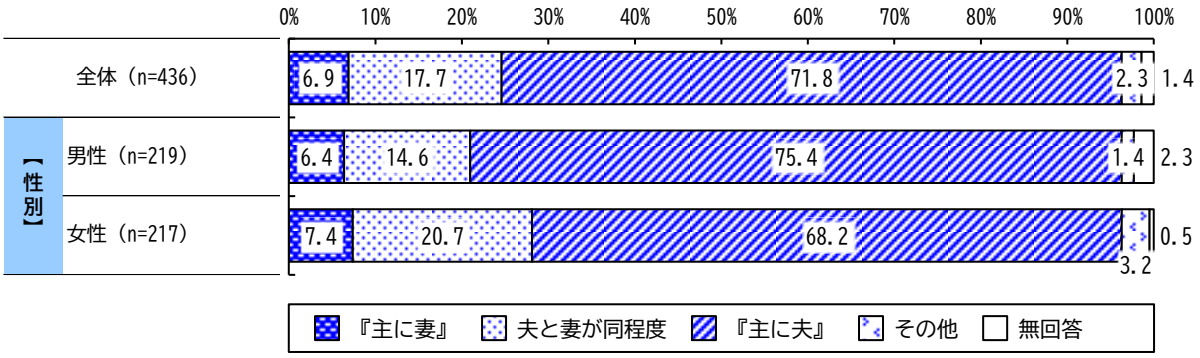


※選択肢は「主にあなた」「主にあなただが配偶者も分担」「あなたと配偶者が同程度」「主に配偶者だがあなたも分担」「主に配偶者」だが、集計上、男性の場合は「あなた」を「夫」に「配偶者」を妻に、女性の場合は「あなた」を「妻」に、「配偶者」を「夫」に変換しています。

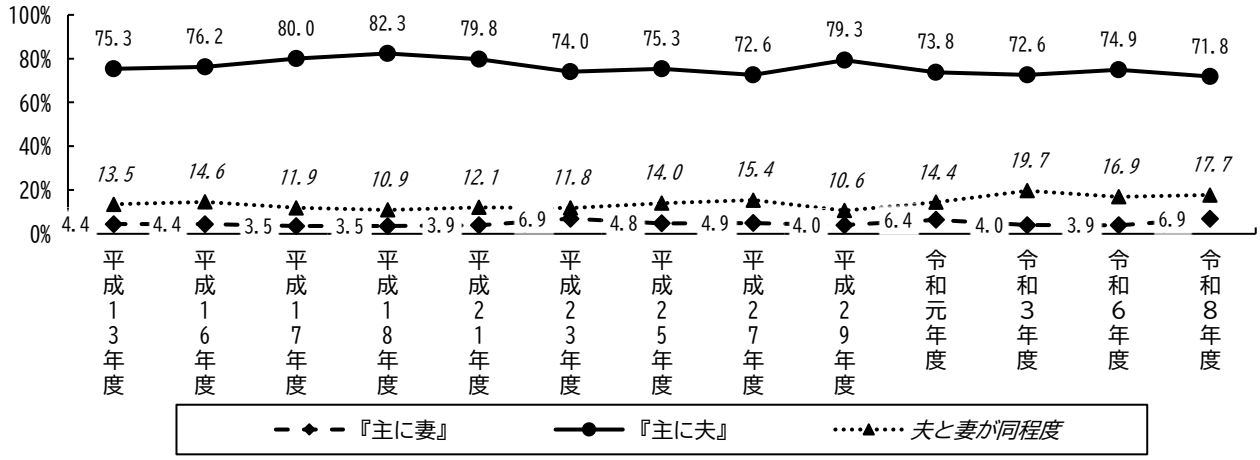
【①家計を支える（生活費を稼ぐ）　性・年代別】



【①家計を支える（生活費を稼ぐ）　全体・性別（選択肢まとめ）】



【①家計を支える（生活費を稼ぐ）　経年比較】



※無回答などを省略していますので、合計しても100%にならないことがあります。
※『主に妻』（「主に妻」＋「主に妻だが夫も分担」）、『主に夫』（「主に夫」＋「主に夫だが妻も分担」）
※令和３年度以降の選択肢は「主にあなた」「主にあなただが配偶者も分担」「あなたと配偶者が同程度」「主に配偶者だがあなたも分担」「主に配偶者」だが、集計上、男性の場合は「あなた」を「夫」に、「配偶者」を「妻」に、女性の場合は「あなた」を「妻」に、「配偶者」を「夫」に変換しています。

	調査数	主に妻	主に妻だが夫も分担	夫と妻が同程度	主に夫だが妻も分担	主に夫	その他	無回答
平成13年度	916	3.4%	1.0%	13.5%	35.0%	40.3%	2.0%	4.8%
平成16年度	636	3.1%	1.3%	14.6%	30.8%	45.4%	1.3%	3.5%
平成17年度	637	1.9%	1.6%	11.9%	30.5%	49.5%	1.3%	3.5%
平成18年度	457	2.4%	1.1%	10.9%	31.5%	50.8%	0.9%	2.4%
平成21年度	536	1.5%	2.4%	12.1%	35.8%	44.0%	1.7%	2.4%
平成23年度	424	3.8%	3.1%	11.8%	32.3%	41.7%	2.8%	4.5%
平成25年度	571	2.5%	2.3%	14.0%	33.3%	42.0%	2.1%	3.9%
平成27年度	637	2.2%	2.7%	15.4%	33.8%	38.8%	1.9%	5.3%
平成29年度	547	2.9%	1.1%	10.6%	37.1%	42.2%	2.2%	3.8%
令和元年度	515	3.3%	3.1%	14.4%	34.6%	39.2%	2.1%	3.3%
令和３年度	547	2.0%	2.0%	19.7%	37.8%	34.7%	2.0%	1.6%
令和６年度	490	2.7%	1.2%	16.9%	37.3%	37.6%	2.2%	2.0%
令和８年度	436	1.6%	5.3%	17.7%	41.1%	30.7%	2.3%	1.4%

②掃除、洗濯、食事のしたくなどの家事をする

＜掃除、洗濯、食事のしたくなどの家事をする＞は『主に妻』が77.6%、
経年比較は「夫と妻が同程度」は増加傾向。

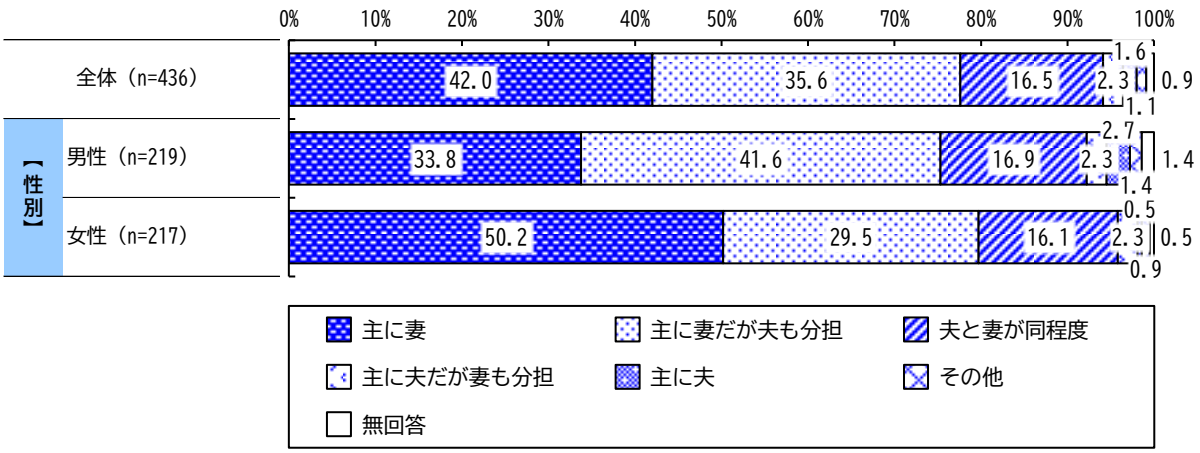
【②掃除、洗濯、食事のしたくなどの家事をする】は『主に妻』（「主に妻」＋「主に妻だが夫も分担」）が77.6%、「夫と妻が同程度」が16.5%、『主に夫』（「主に夫」＋「主に夫だが妻も分担」）が3.9%となっています。

性別でみると、『主に妻』は男性で75.4%、女性で79.7%となっています。

男性は『主に配偶者』（「主に配偶者」＋「主に配偶者だがあなたも分担」）の割合が30歳～39歳以上で、女性は『主にあなた』（「主にあなた」＋「主にあなただが配偶者も分担」）の割合がすべての年代で高くなっています。また、女性の70歳以上で『主にあなた』が90.2%と他の年代に比べて高くなっています。

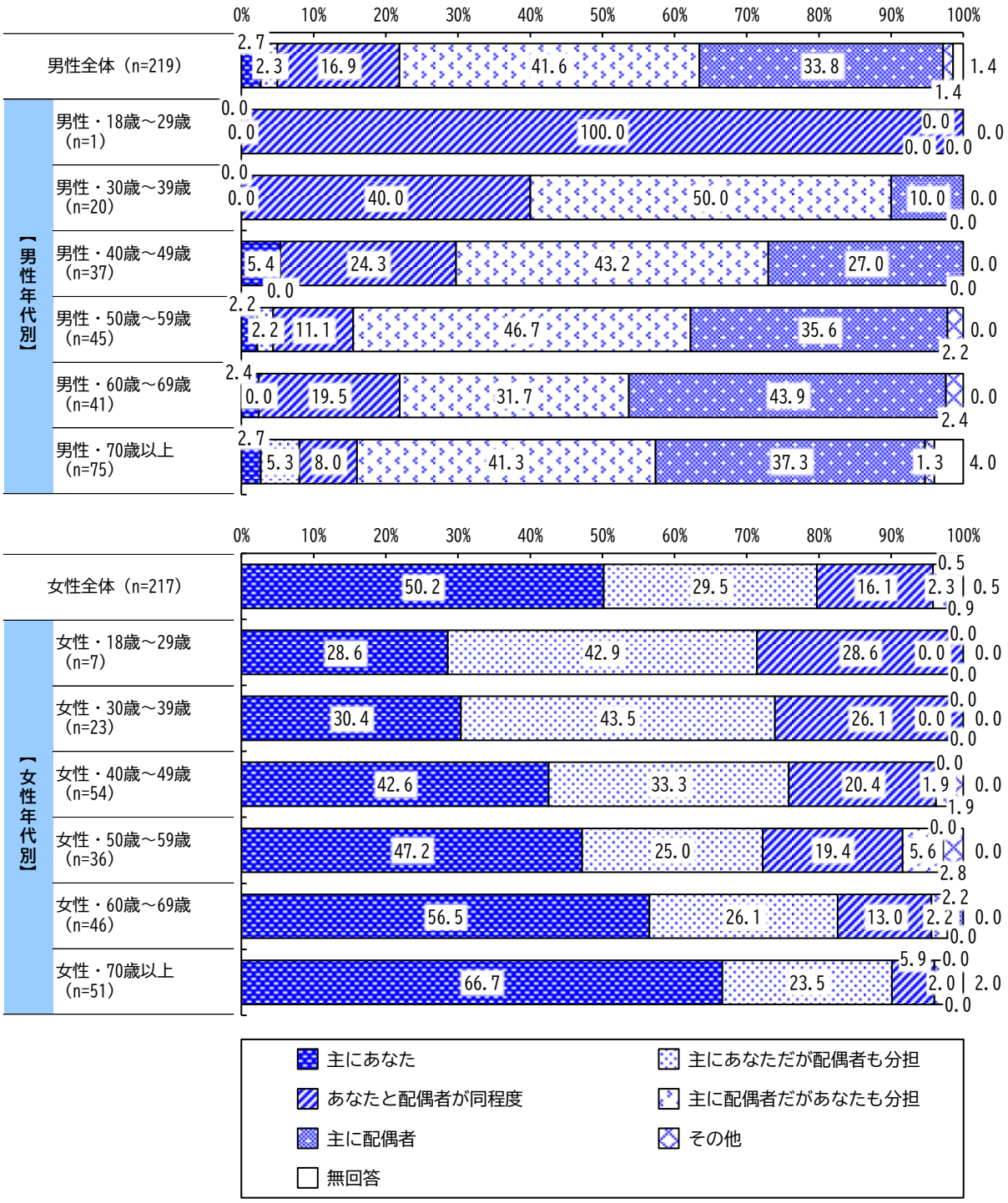
経年比較でみると、「夫と妻が同程度」が増加傾向で、今年度調査の割合が過去最高となっています。

【全体・性別】

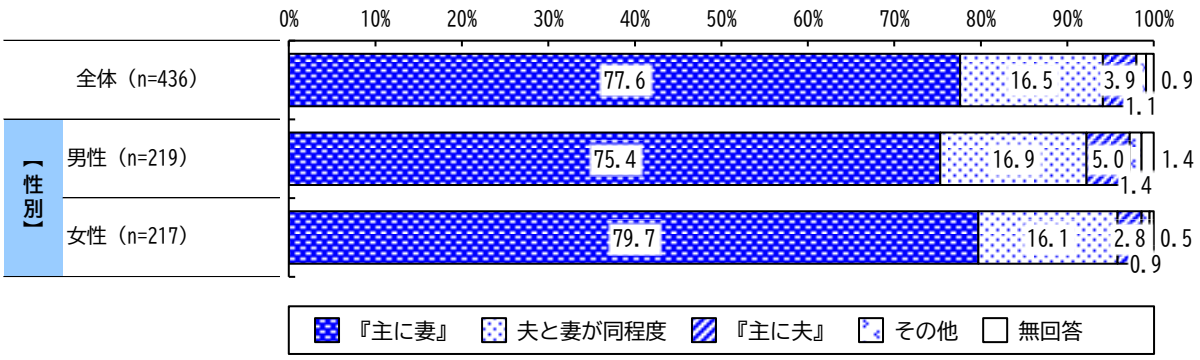


※選択肢は「主にあなた」「主にあなただが配偶者も分担」「あなたと配偶者が同程度」「主に配偶者だがあなたも分担」「主に配偶者」だが、集計上、男性の場合は「あなた」を「夫」に「配偶者」を妻に、女性の場合は「あなた」を「妻」に、「配偶者」を「夫」に変換しています。

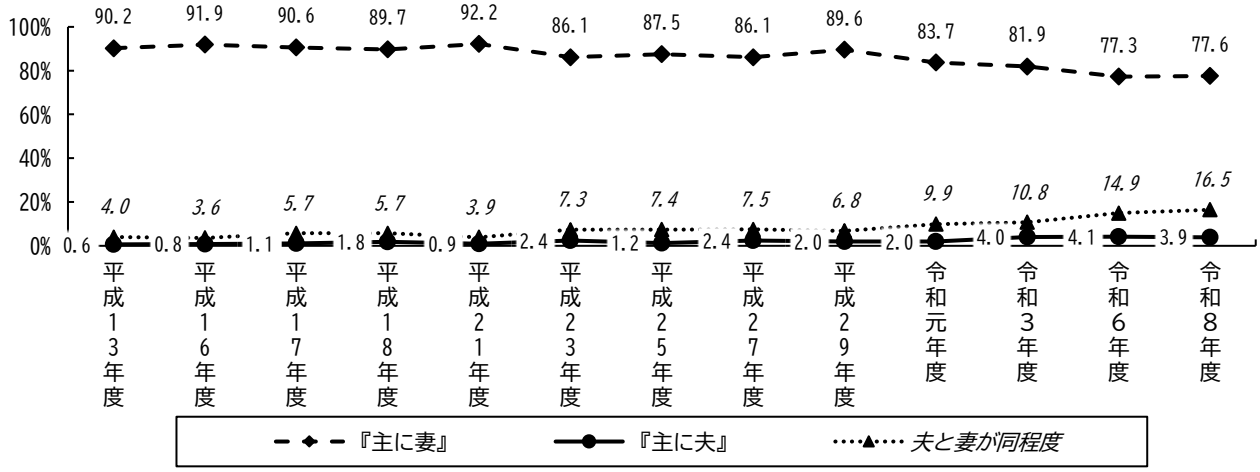
【②掃除、洗濯、食事のしたくなどの家事をする　性・年代別】



【②掃除、洗濯、食事のしたくなどの家事をする　全体・性別（選択肢まとめ）】



【②掃除、洗濯、食事のしたくなどの家事をする　経年比較】



※無回答などを省略していますので、合計しても100%にならないことがあります。

※『主に妻』（「主に妻」＋「主に妻だが夫も分担」）、『主に夫』（「主に夫」＋「主に夫だが妻も分担」）

※令和３年度以降の選択肢は「主にあなた」「主にあなただが配偶者も分担」「あなたと配偶者が同程度」「主に配偶者だがあなたも分担」「主に配偶者」だが、集計上、男性の場合は「あなた」を「夫」に、「配偶者」を「妻」に、女性の場合は「あなた」を「妻」に、「配偶者」を「夫」に変換しています。

	調査数	主に妻	主に妻だが夫も分担	夫と妻が同程度	主に夫だが妻も分担	主に夫	その他	無回答
平成13年度	916	68.9%	21.3%	4.0%	0.3%	0.3%	1.4%	3.7%
平成16年度	636	68.6%	23.3%	3.6%	0.2%	0.6%	1.1%	2.7%
平成17年度	637	67.8%	22.8%	5.7%	0.8%	0.3%	0.9%	1.7%
平成18年度	457	64.3%	25.4%	5.7%	1.1%	0.7%	0.7%	2.2%
平成21年度	536	60.1%	32.1%	3.9%	0.7%	0.2%	0.9%	2.1%
平成23年度	424	62.0%	24.1%	7.3%	0.5%	1.9%	0.5%	3.8%
平成25年度	571	58.3%	29.2%	7.4%	1.2%	0.0%	0.9%	3.0%
平成27年度	637	56.4%	29.7%	7.5%	1.3%	1.1%	1.1%	3.0%
平成29年度	547	56.1%	33.5%	6.8%	1.5%	0.5%	0.4%	1.3%
令和元年度	515	50.1%	33.6%	9.9%	1.0%	1.0%	1.7%	2.7%
令和３年度	547	48.4%	33.5%	10.8%	3.5%	0.5%	1.8%	1.5%
令和６年度	490	42.0%	35.3%	14.9%	3.7%	0.4%	2.0%	1.6%
令和８年度	436	42.0%	35.6%	16.5%	2.3%	1.6%	1.1%	0.9%

③ゴミ出しなどの簡単な家事をする

＜ゴミ出しなどの簡単な家事をする＞は『主に夫』が42.2%、
経年比較は『主に妻』は減少傾向、『主に夫』は増加傾向。

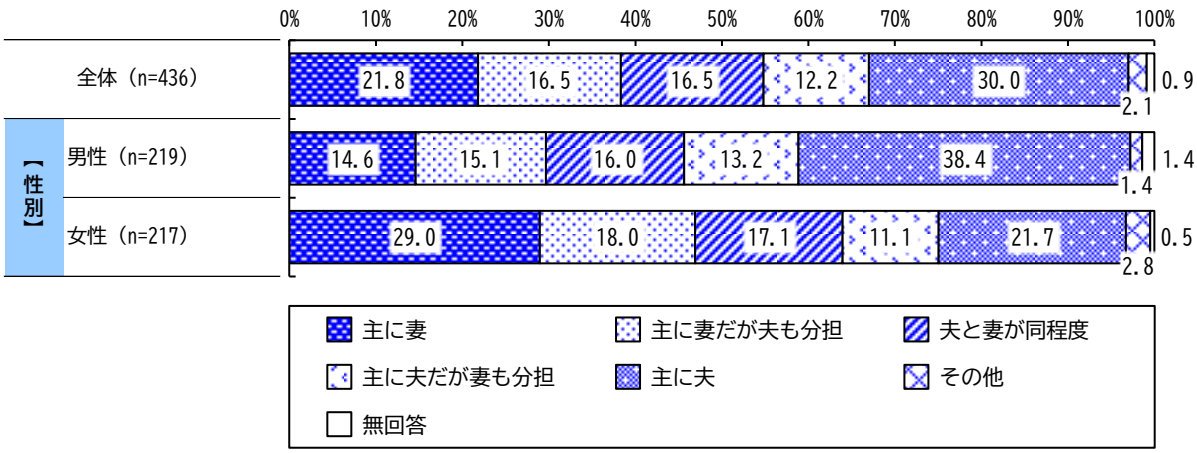
【③ゴミ出しなどの簡単な家事をする】は『主に妻』（「主に妻」＋「主に妻だが夫も分担」）が38.3%、「夫と妻が同程度」が16.5%、『主に夫』（「主に夫」＋「主に夫だが妻も分担」）が42.2%となっています。

性別でみると、男性は『主に夫』が51.6%、『主に妻』が29.7%、女性は『主に夫』が32.8%、『主に妻』が47.0%となっています。

性・年代別でみると、男性は40歳～49歳で『主にあなた』（「主にあなた」＋「主にあなただが配偶者も分担」）の割合が他の年代に比べて高くなっています。

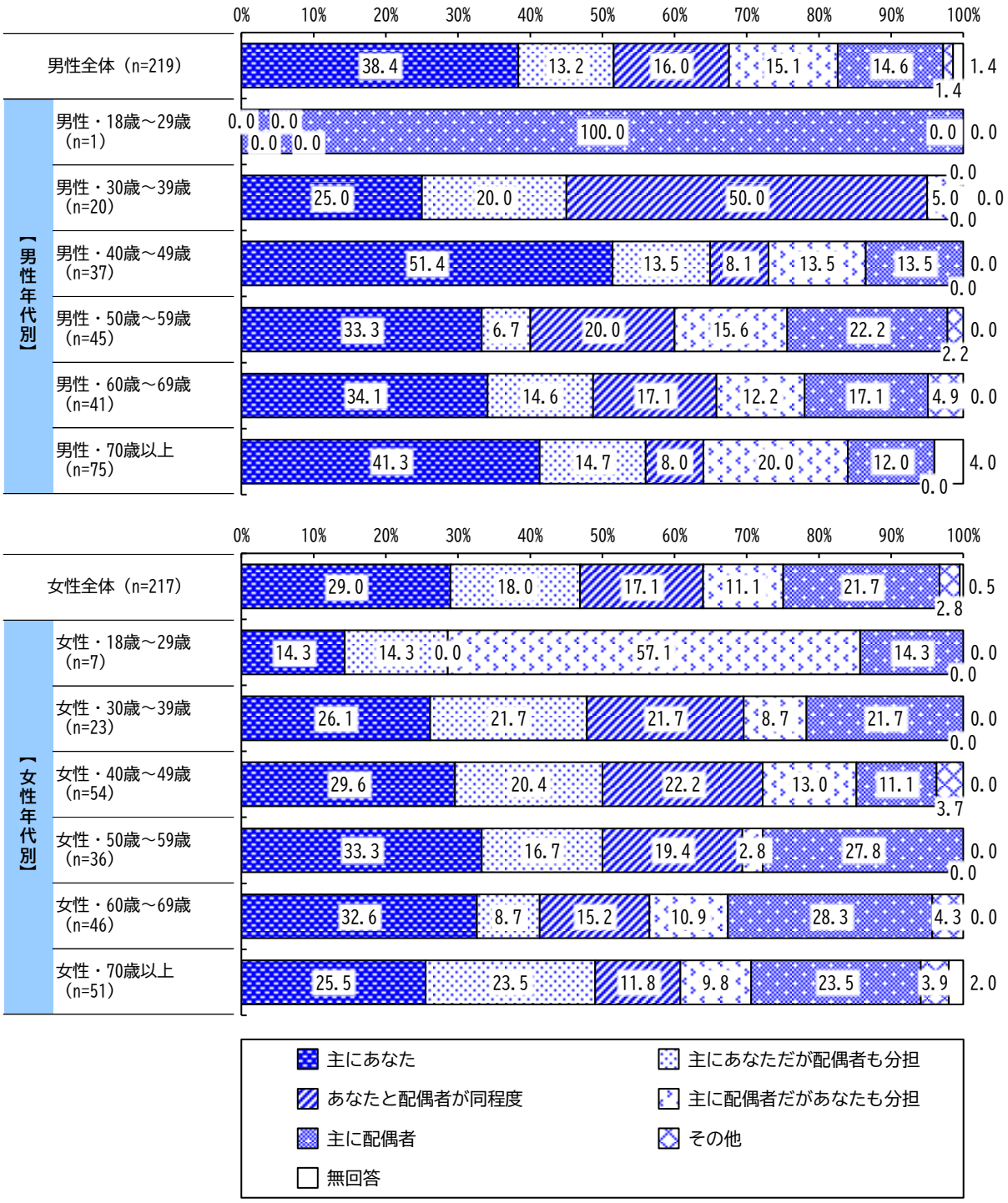
経年比較でみると、『主に妻』が減少傾向で、今年度調査の割合が過去最低となっています。また、『主に夫』が増加傾向で、今年度調査の割合が過去最高となっています。

【全体・性別】

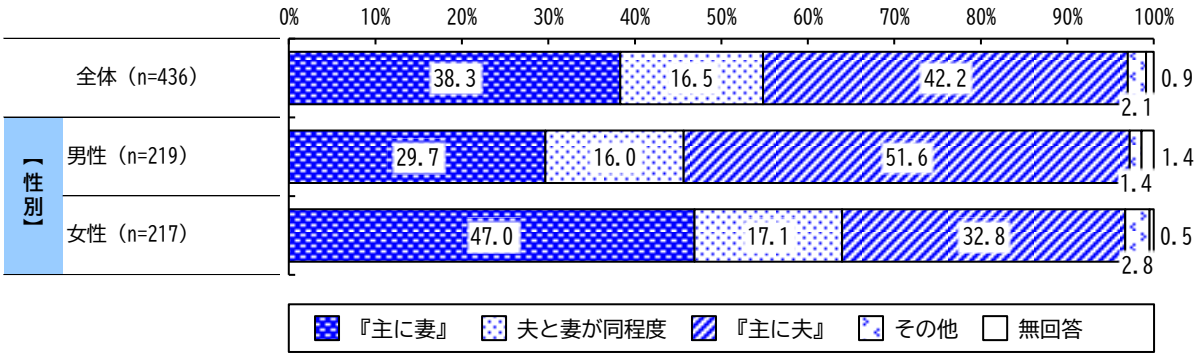


※選択肢は「主にあなた」「主にあなただが配偶者も分担」「あなたと配偶者が同程度」「主に配偶者だがあなたも分担」「主に配偶者」だが、集計上、男性の場合は「あなた」を「夫」に「配偶者」を妻に、女性の場合は「あなた」を「妻」に、「配偶者」を「夫」に変換しています。

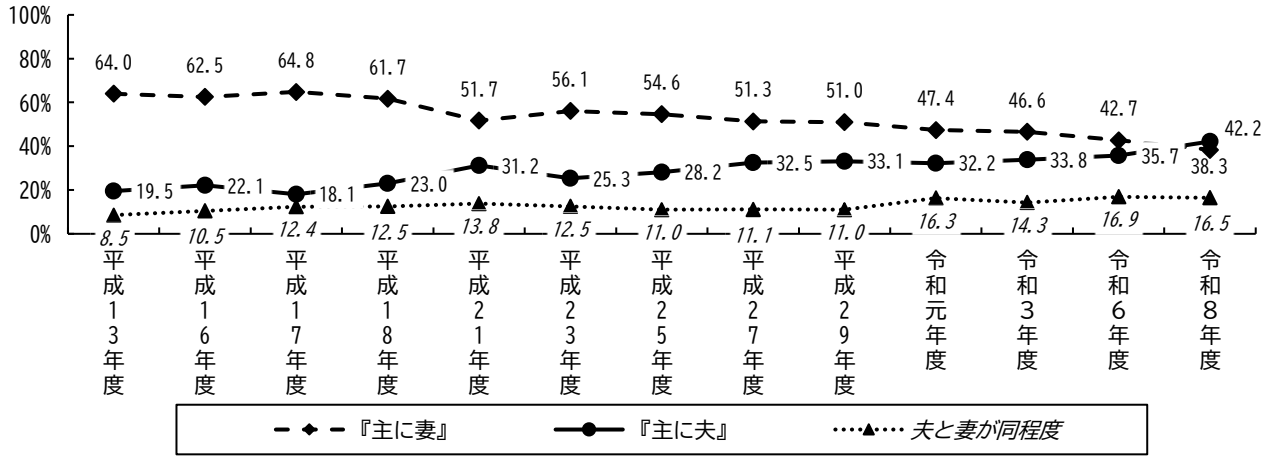
【③ゴミ出しなどの簡単な家事をする　性・年代別】



【③ゴミ出しなどの簡単な家事をする　全体・性別（選択肢まとめ）】



【③ゴミ出しなどの簡単な家事をする　経年比較】



※無回答などを省略していますので、合計しても100%にならないことがあります。
※『主に妻』（「主に妻」＋「主に妻だが夫も分担」）、『主に夫』（「主に夫」＋「主に夫だが妻も分担」）
※令和３年度以降の選択肢は「主にあなた」「主にあなただが配偶者も分担」「あなたと配偶者が同程度」「主に配偶者だがあなたも分担」「主に配偶者」だが、集計上、男性の場合は「あなた」を「夫」に、「配偶者」を「妻」に、女性の場合は「あなた」を「妻」に、「配偶者」を「夫」に変換しています。

	調査数	主に妻	主に妻だが夫も分担	夫と妻が同程度	主に夫だが妻も分担	主に夫	その他	無回答
平成13年度	916	41.2%	22.8%	8.5%	7.3%	12.2%	3.8%	4.1%
平成16年度	636	38.1%	24.4%	10.5%	7.5%	14.6%	1.4%	3.5%
平成17年度	637	39.1%	25.7%	12.4%	5.5%	12.6%	2.7%	2.0%
平成18年度	457	36.8%	24.9%	12.5%	7.7%	15.3%	0.9%	2.0%
平成21年度	536	33.0%	18.7%	13.8%	11.2%	20.0%	2.1%	1.3%
平成23年度	424	36.8%	19.3%	12.5%	8.3%	17.0%	1.7%	4.5%
平成25年度	571	32.0%	22.6%	11.0%	9.3%	18.9%	2.3%	3.9%
平成27年度	637	28.9%	22.4%	11.1%	8.0%	24.5%	2.4%	2.7%
平成29年度	547	29.1%	21.9%	11.0%	9.5%	23.6%	2.7%	2.2%
令和元年度	515	24.9%	22.5%	16.3%	9.5%	22.7%	2.3%	1.7%
令和３年度	547	24.9%	21.8%	14.3%	11.5%	22.3%	3.1%	2.2%
令和６年度	490	21.6%	21.0%	16.9%	9.6%	26.1%	3.1%	1.6%
令和８年度	436	21.8%	16.5%	16.5%	12.2%	30.0%	2.1%	0.9%

④日々の家計の管理をする

＜日々の家計の管理をする＞は『主に妻』が64.0%。

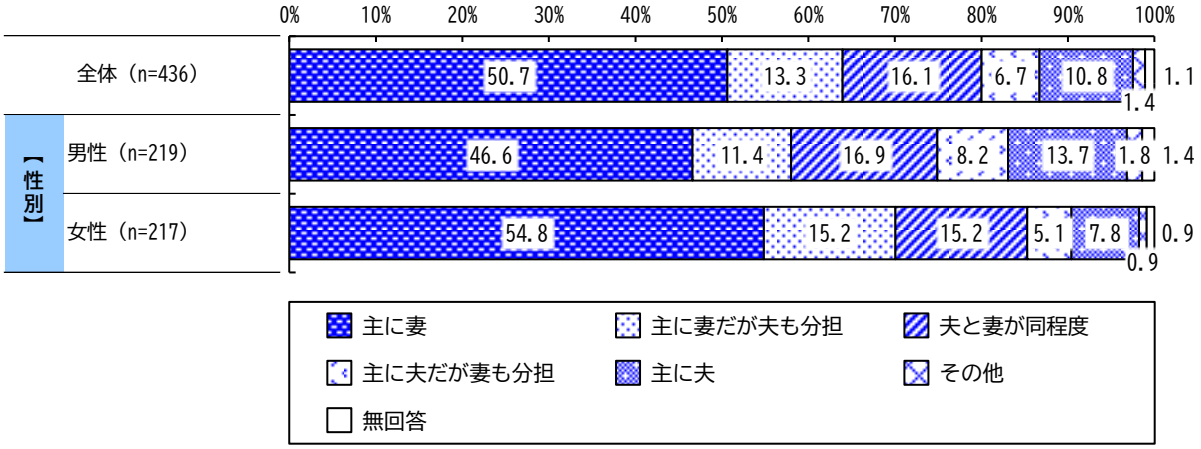
【④日々の家計の管理をする】は『主に妻』（「主に妻」＋「主に妻だが夫も分担」）が64.0%、「夫と妻が同程度」が16.1%、『主に夫』（「主に夫」＋「主に夫だが妻も分担」）が17.5%となっています。

性別でみると、『主に妻』は男性で58.0%、女性で70.0%となっています。

性・年代別でみると、男性は60歳～69歳で『主に配偶者』（「主に配偶者」＋「主に配偶者だがあなたも分担」）、女性は18歳～29歳、60歳～69歳、70歳以上で『主にあなた』（「主にあなた」＋「主にあなただが配偶者も分担」）の割合がそれぞれ７割以上となっています。

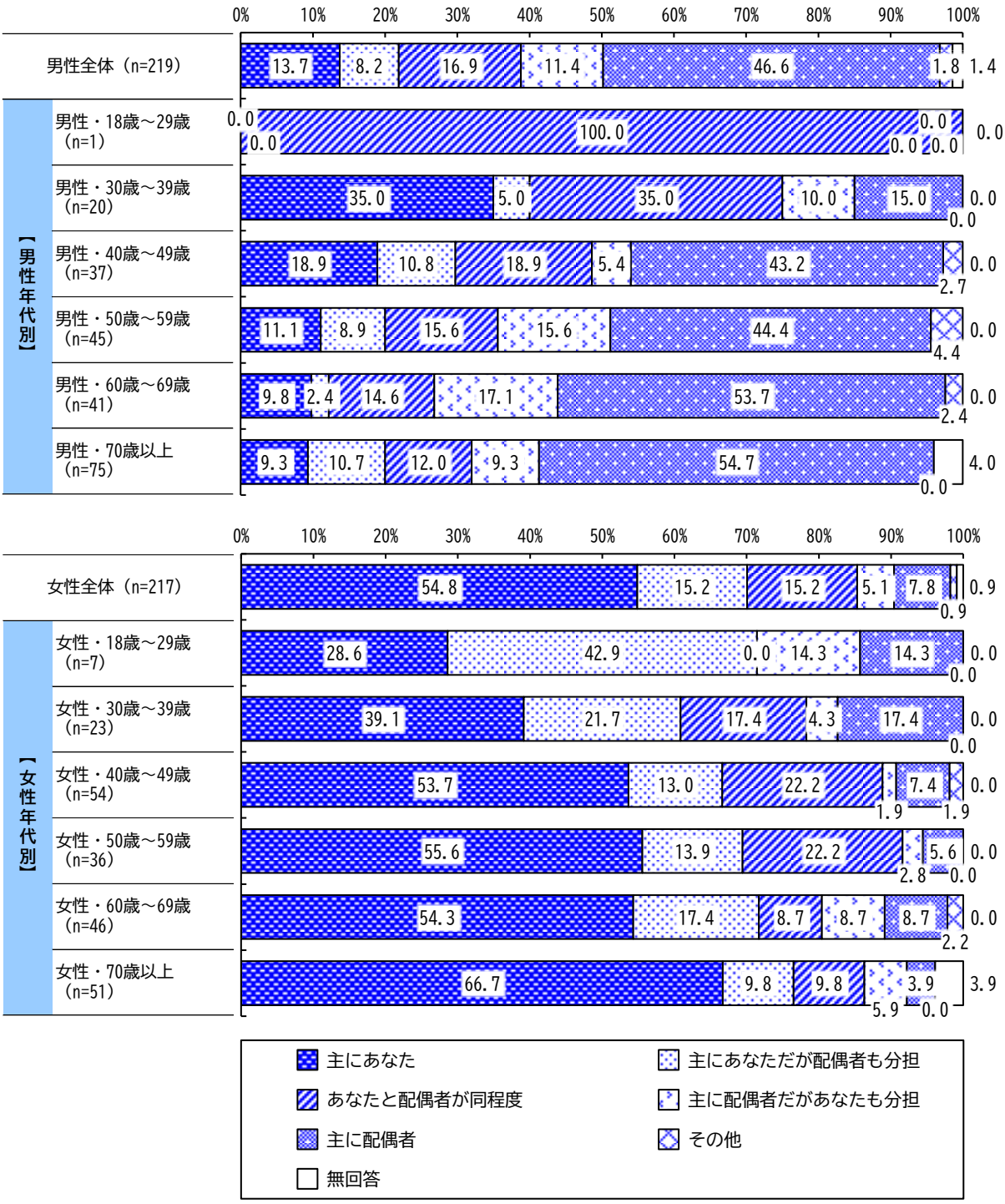
経年比較でみると、前回調査から大きな変化はありません。

【全体・性別】

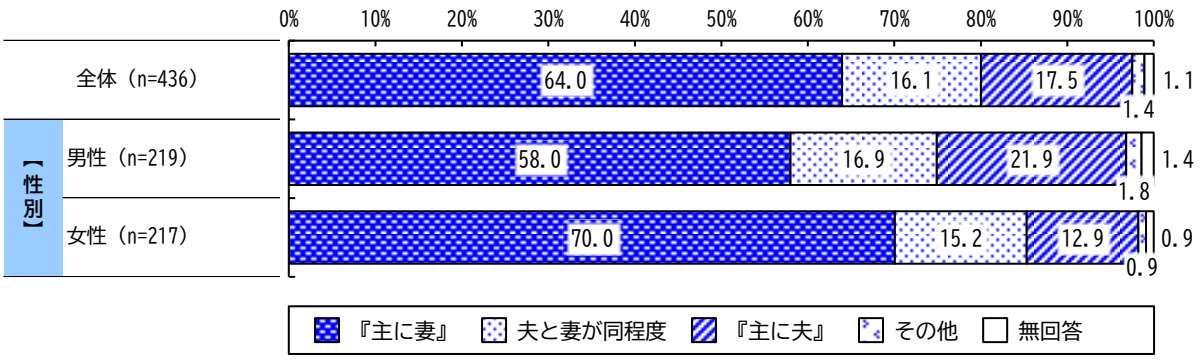


※選択肢は「主にあなた」「主にあなただが配偶者も分担」「あなたと配偶者が同程度」「主に配偶者だがあなたも分担」「主に配偶者」だが、集計上、男性の場合は「あなた」を「夫」に「配偶者」を妻に、女性の場合は「あなた」を「妻」に、「配偶者」を「夫」に変換しています。

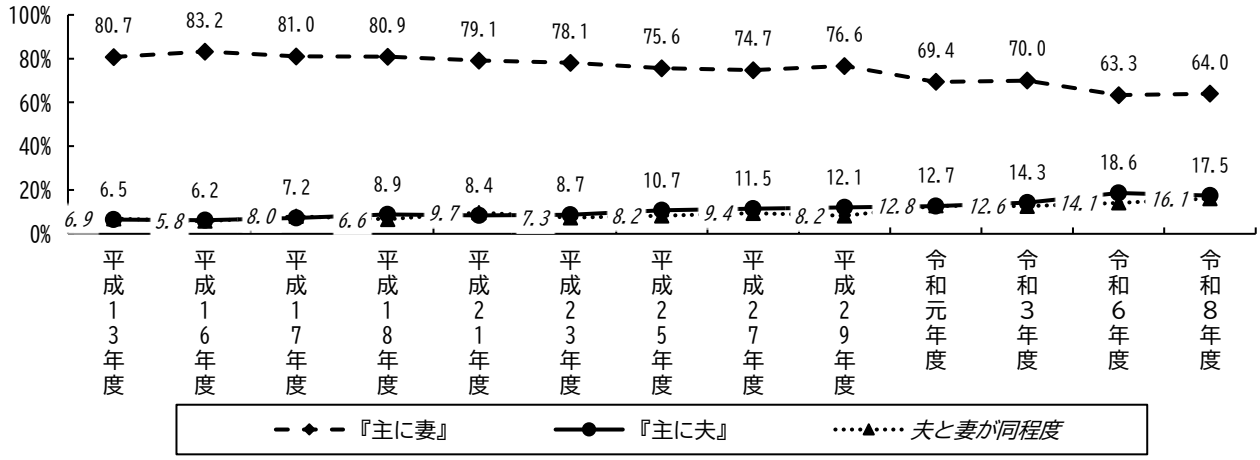
【④日々の家計の管理をする　性・年代別】



【④日々の家計の管理をする　全体・性別（選択肢まとめ）】



【④日々の家計の管理をする　経年比較】



※無回答などを省略していますので、合計しても100%にならないことがあります。

※『主に妻』（「主に妻」＋「主に妻だが夫も分担」）、『主に夫』（「主に夫」＋「主に夫だが妻も分担」）

※令和３年度以降の選択肢は「主にあなた」「主にあなただが配偶者も分担」「あなたと配偶者が同程度」「主に配偶者だがあなたも分担」「主に配偶者」だが、集計上、男性の場合は「あなた」を「夫」に、「配偶者」を「妻」に、女性の場合は「あなた」を「妻」に、「配偶者」を「夫」に変換しています。

	調査数	主に妻	主に妻だが夫も分担	夫と妻が同程度	主に夫だが妻も分担	主に夫	その他	無回答
平成13年度	916	71.1%	9.6%	6.9%	3.8%	2.7%	1.4%	4.5%
平成16年度	636	70.6%	12.6%	5.8%	3.5%	2.7%	1.3%	3.6%
平成17年度	637	70.0%	11.0%	8.0%	3.0%	4.2%	1.1%	2.7%
平成18年度	457	66.7%	14.2%	6.6%	3.9%	5.0%	0.7%	2.8%
平成21年度	536	65.7%	13.4%	9.7%	4.9%	3.5%	1.3%	1.5%
平成23年度	424	68.4%	9.7%	7.3%	3.3%	5.4%	1.4%	4.5%
平成25年度	571	65.8%	9.8%	8.2%	5.1%	5.6%	1.1%	4.4%
平成27年度	637	63.9%	10.8%	9.4%	4.4%	7.1%	1.1%	3.3%
平成29年度	547	63.6%	13.0%	8.2%	4.8%	7.3%	2.0%	1.1%
令和元年度	515	57.9%	11.5%	12.8%	4.9%	7.8%	2.7%	2.5%
令和３年度	547	60.3%	9.7%	12.6%	5.9%	8.4%	1.3%	1.8%
令和６年度	490	52.4%	10.8%	14.1%	7.6%	11.0%	2.0%	2.0%
令和８年度	436	50.7%	13.3%	16.1%	6.7%	10.8%	1.4%	1.1%

⑤育児、子どものしつけをする

＜育児、子どものしつけをする＞は『主に妻』が53.0%、「夫と妻が同程度」が35.5%。

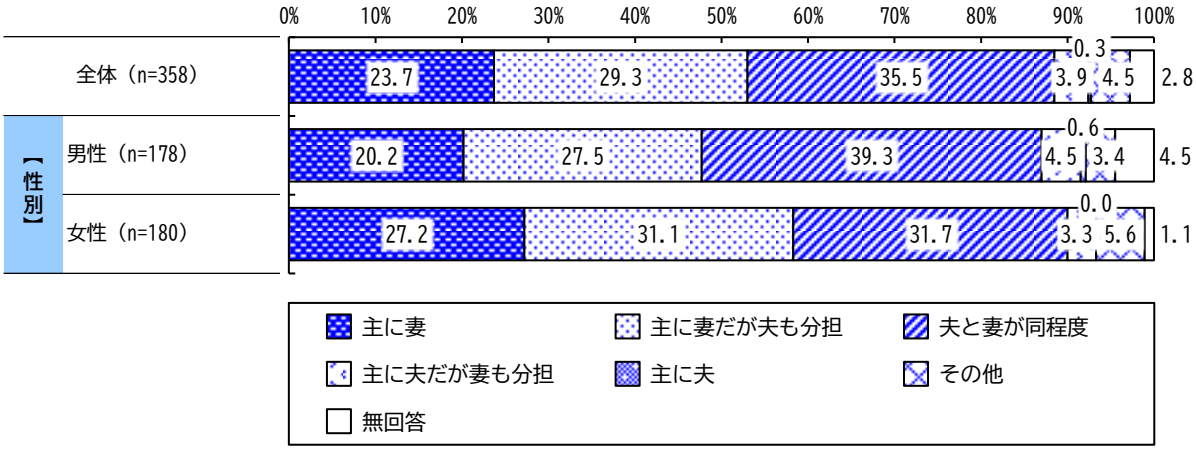
【⑤育児、子どものしつけをする】は『主に妻』（「主に妻」＋「主に妻だが夫も分担」）が53.0%、「夫と妻が同程度」が35.5%、『主に夫』（「主に夫」＋「主に夫だが妻も分担」）が4.2%となっています。

性別でみると、『主に妻』は男性で47.7%、女性で58.3%、「夫と妻が同程度」は男性で39.3%、女性で31.7%となっています。

性・年代別でみると、男性は30歳～39歳で「あなたと配偶者が同程度」が61.1%と他の年代に比べて高くなっています。

経年比較でみると、今年度調査で『主に妻』の割合が減少傾向で、過去最低となっています。また、「夫と妻が同程度」の割合が増加傾向で、過去最高となっています。

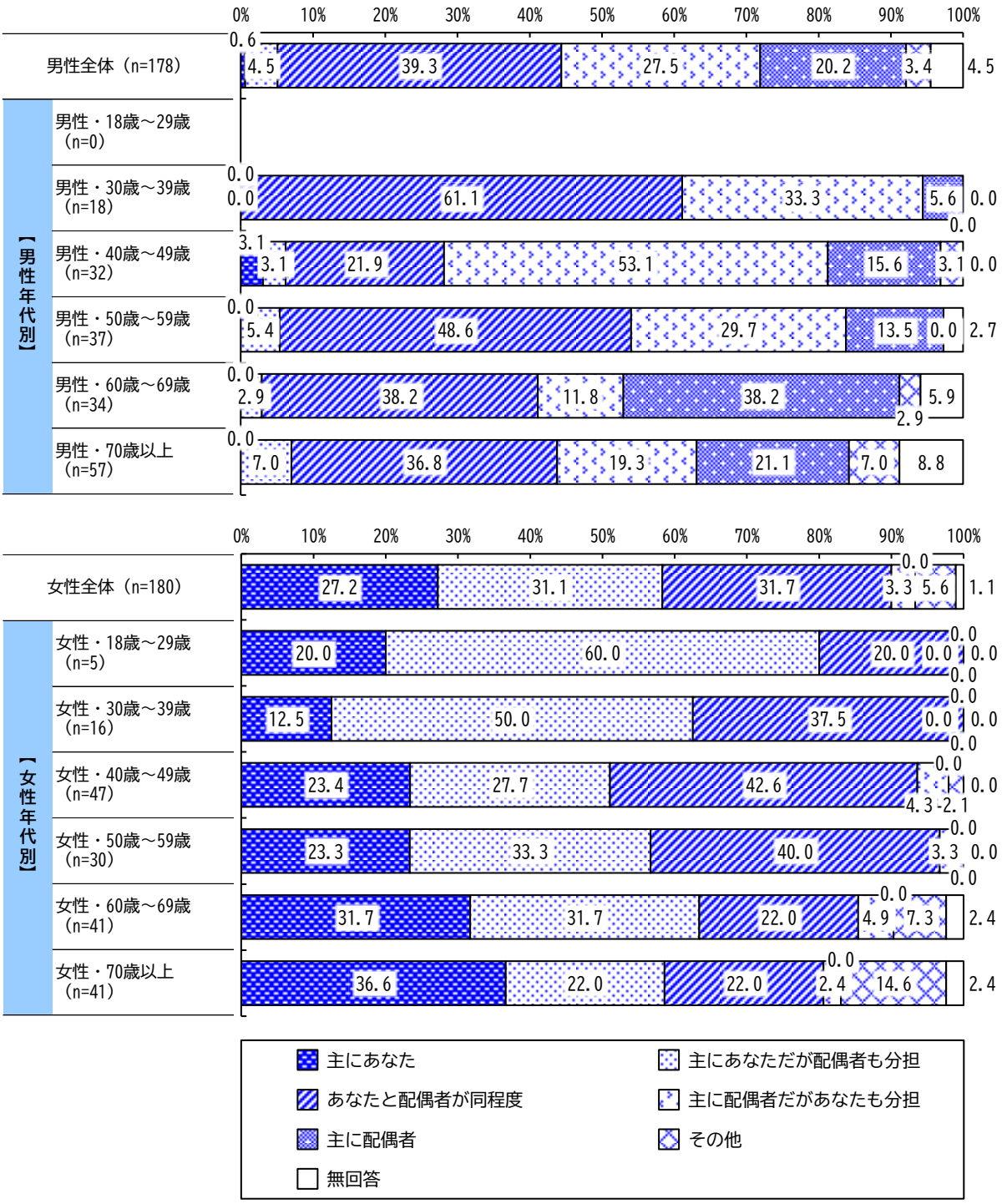
【全体・性別】



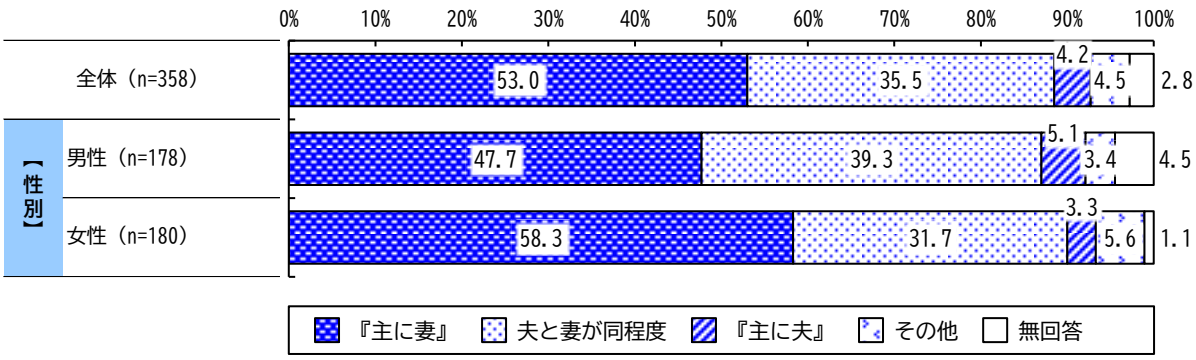
※選択肢は「主にあなた」「主にあなただが配偶者も分担」「あなたと配偶者が同程度」「主に配偶者だがあなたも分担」「主に配偶者」だが、集計上、男性の場合は「あなた」を「夫」に「配偶者」を妻に、女性の場合は「あなた」を「妻」に、「配偶者」を「夫」に変換しています。

※選択肢「同居の子どもや親がいない」を除外して集計しています。

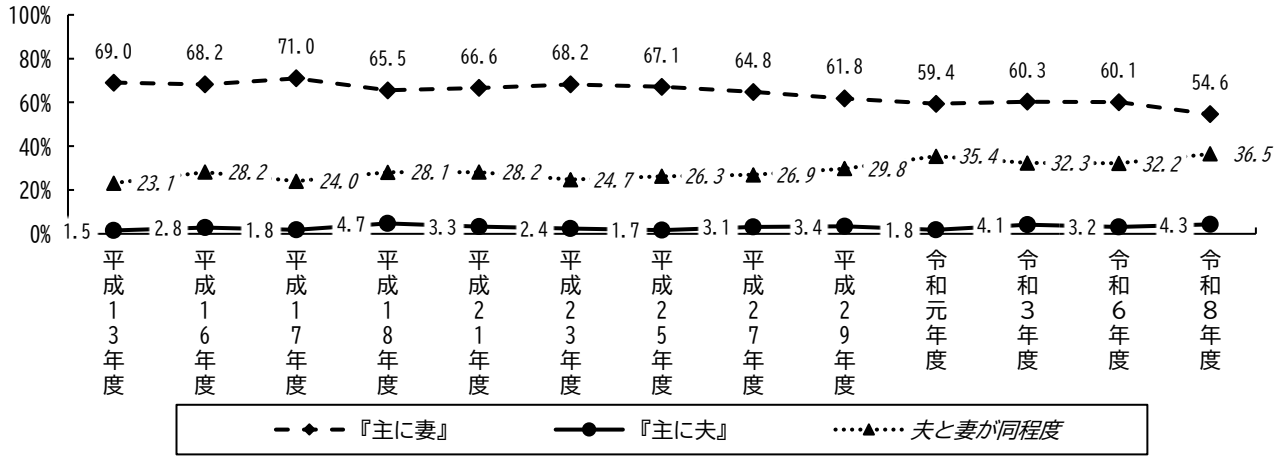
【⑤育児、子どものしつけをする　性・年代別】



【⑤育児、子どものしつけをする　全体・性別（選択肢まとめ）】



【⑤育児、子どものしつけをする　経年比較】



※経年比較の条件を揃えるため、全体から「同居の子どもや親がいない」「無回答」を除いて再集計しています。
※無回答などを省略していますので、合計しても100%にならないことがあります。
※『主に妻』（「主に妻」＋「主に妻だが夫も分担」）、『主に夫』（「主に夫」＋「主に夫だが妻も分担」）
※令和３年度以降の選択肢は「主にあなた」「主にあなただが配偶者も分担」「あなたと配偶者が同程度」「主に配偶者だがあなたも分担」「主に配偶者」だが、集計上、男性の場合は「あなた」を「夫」に、「配偶者」を「妻」に、女性の場合は「あなた」を「妻」に、「配偶者」を「夫」に変換しています。

	調査数	主に妻	主に妻だが夫も分担	夫と妻が同程度	主に夫だが妻も分担	主に夫	その他
平成13年度	689	33.5%	35.5%	23.1%	0.4%	1.1%	6.4%
平成16年度	494	31.8%	36.4%	28.2%	2.2%	0.6%	0.8%
平成17年度	497	30.0%	41.0%	24.0%	1.4%	0.4%	3.2%
平成18年度	356	25.8%	39.7%	28.1%	3.3%	1.4%	1.7%
平成21年度	425	30.1%	36.5%	28.2%	2.8%	0.5%	1.9%
平成23年度	296	30.7%	37.5%	24.7%	1.4%	1.0%	4.7%
平成25年度	410	31.2%	35.9%	26.3%	1.5%	0.2%	4.9%
平成27年度	457	26.7%	38.1%	26.9%	2.4%	0.7%	5.3%
平成29年度	406	24.6%	37.2%	29.8%	3.2%	0.2%	4.9%
令和元年度	379	21.4%	38.0%	35.4%	1.1%	0.8%	3.4%
令和３年度	390	24.1%	36.2%	32.3%	3.1%	1.0%	3.3%
令和６年度	376	26.9%	33.2%	32.2%	2.4%	0.8%	4.5%
令和８年度	348	24.4%	30.2%	36.5%	4.0%	0.3%	4.6%

※経年比較の条件を揃えるため、全体から「同居の子どもや親がいない」「無回答」を除いて再集計しています。

⑥親の世話（介護）をする

＜親の世話(介護)をする＞は『主に妻』が46.0%。

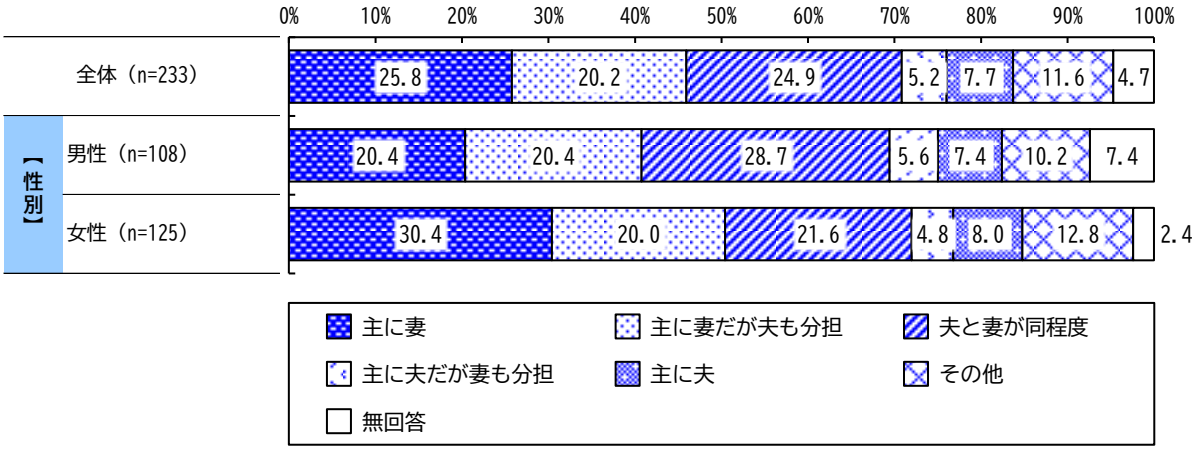
【⑥親の世話（介護）をする】は『主に妻』（「主に妻」＋「主に妻だが夫も分担」）が46.0%、「夫と妻が同程度」が24.9%、『主に夫』（「主に夫」＋「主に夫だが妻も分担」）が12.9%となっています。

性別でみると、『主に妻』は男性で40.8%、女性で50.4%、「夫と妻が同程度」は男性で28.7%、女性で21.6%となっています。

性・年代別でみると、女性の50歳～59歳で『主にあなた』（「主にあなた」＋「主にあなただが配偶者も分担」）が73.1%と他の年代に比べて高くなっています。

経年比較でみると、『主に妻』が前回調査より高くなっています。『主に夫』は増加傾向で、今年度調査の割合が過去最高となっています。

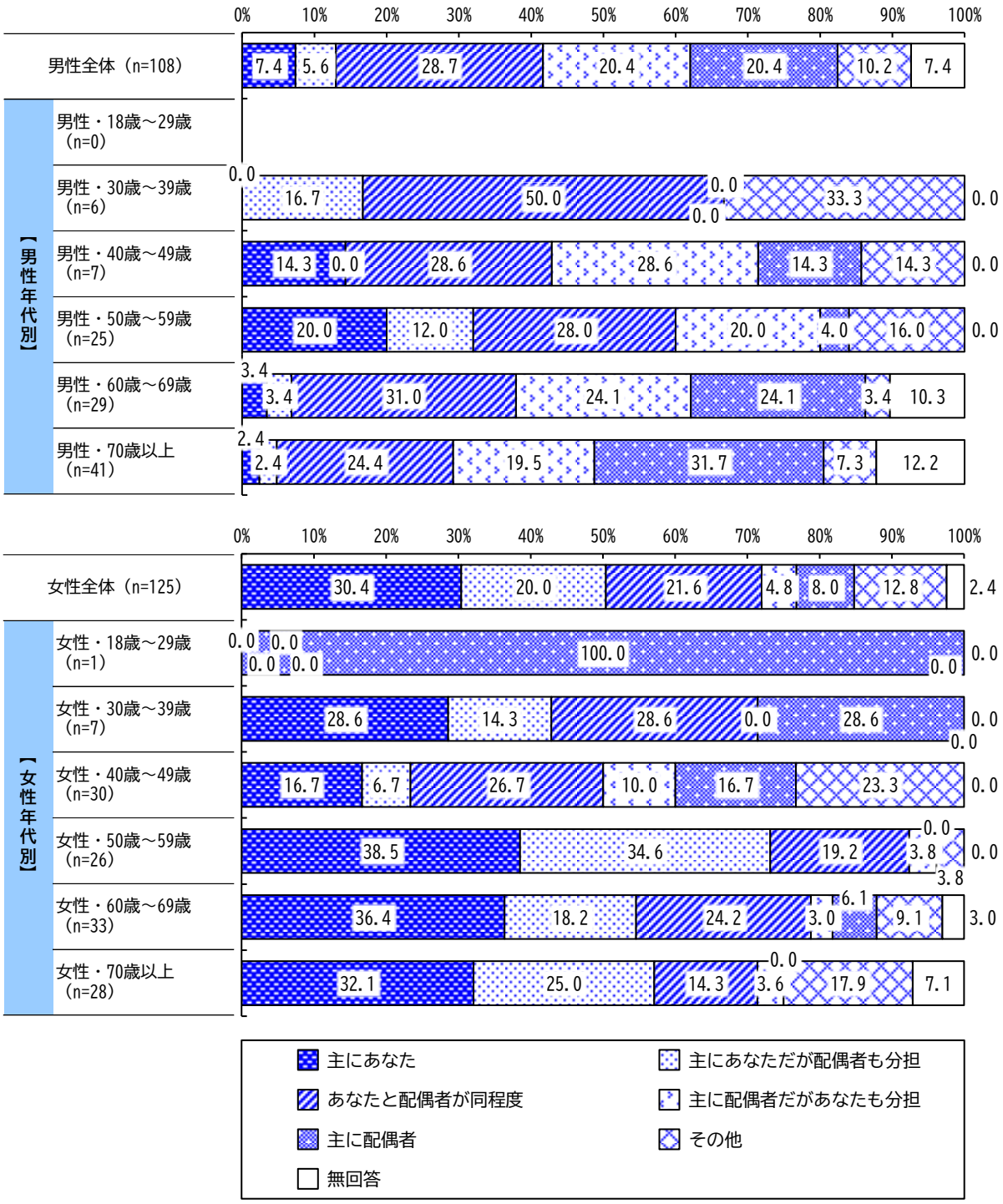
【全体・性別】



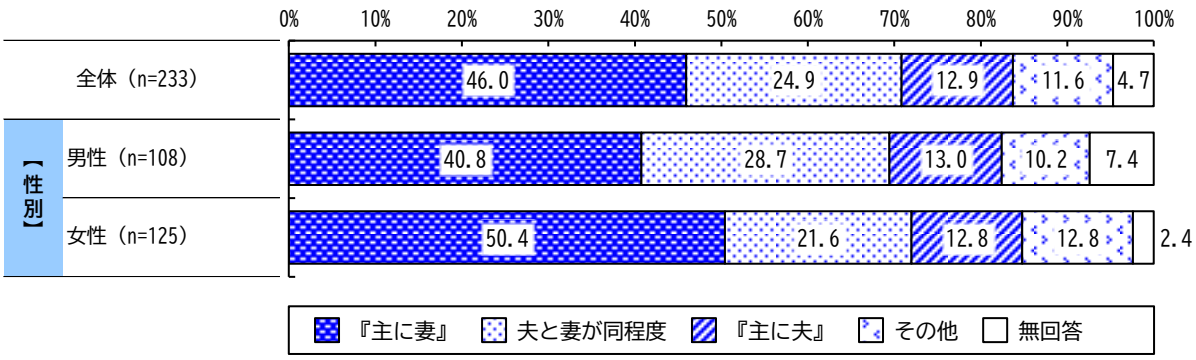
※選択肢は「主にあなた」「主にあなただが配偶者も分担」「あなたと配偶者が同程度」「主に配偶者だがあなたも分担」「主に配偶者」だが、集計上、男性の場合は「あなた」を「夫」に「配偶者」を妻に、女性の場合は「あなた」を「妻」に、「配偶者」を「夫」に変換しています。

※選択肢「同居の子どもや親がいない」を除外して集計しています。

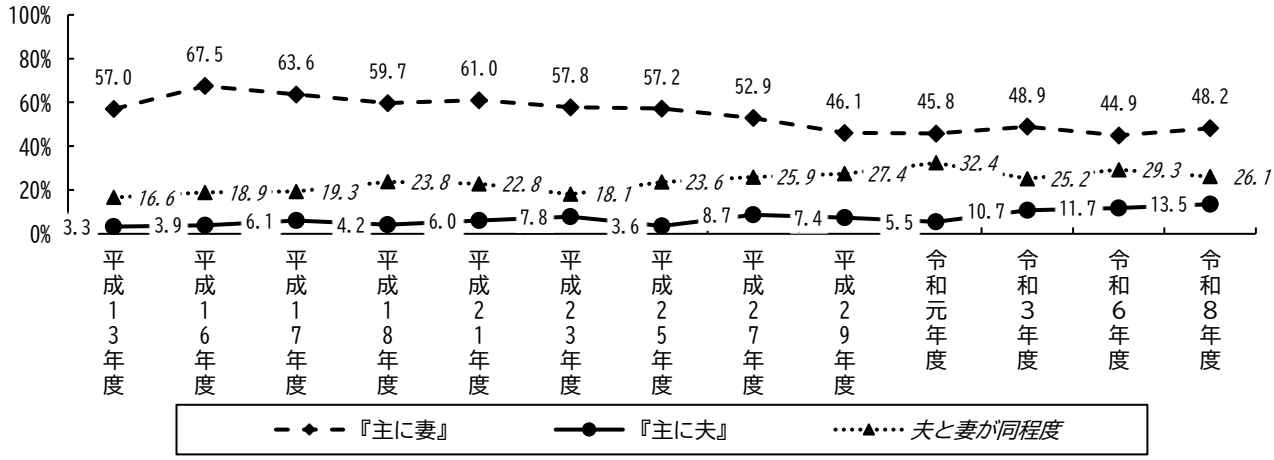
【⑥親の世話（介護）をする　性・年代別】



【⑥親の世話（介護）をする　全体・性別（選択肢まとめ）】



【⑥親の世話（介護）をする　経年比較】



※経年比較の条件を揃えるため、全体から「同居の子どもや親がいない」「無回答」を除いて再集計しています。

※無回答などを省略していますので、合計しても100%にならないことがあります。

※『主に妻』（「主に妻」＋「主に妻だが夫も分担」）、『主に夫』（「主に夫」＋「主に夫だが妻も分担」）

※令和３年度以降の選択肢は「主にあなた」「主にあなただが配偶者も分担」「あなたと配偶者が同程度」「主に配偶者だがあなたも分担」「主に配偶者」だが、集計上、男性の場合は「あなた」を「夫」に、「配偶者」を「妻」に、女性の場合は「あなた」を「妻」に、「配偶者」を「夫」に変換しています。

	調査数	主に妻	主に妻だが夫も分担	夫と妻が同程度	主に夫だが妻も分担	主に夫	その他
平成13年度	474	34.4%	22.6%	16.6%	1.9%	1.4%	23.2%
平成16年度	344	41.2%	26.3%	18.9%	3.0%	0.9%	9.8%
平成17年度	367	37.7%	25.9%	19.3%	3.8%	2.3%	11.1%
平成18年度	261	33.3%	26.4%	23.8%	1.6%	2.6%	12.3%
平成21年度	302	31.5%	29.5%	22.8%	4.3%	1.7%	10.3%
平成23年度	204	31.9%	26.0%	18.1%	3.9%	3.9%	16.2%
平成25年度	276	36.6%	20.7%	23.6%	2.9%	0.7%	15.6%
平成27年度	367	28.6%	24.3%	25.9%	4.4%	4.4%	12.5%
平成29年度	310	24.8%	21.3%	27.4%	3.2%	4.2%	19.0%
令和元年度	275	21.8%	24.0%	32.4%	1.8%	3.6%	16.4%
令和３年度	309	27.8%	21.0%	25.2%	6.8%	3.9%	15.2%
令和６年度	256	25.0%	19.9%	29.3%	8.6%	3.1%	14.1%
令和８年度	222	27.0%	21.2%	26.1%	5.4%	8.1%	12.2%

※経年比較の条件を揃えるため、全体から「同居の子どもや親がいない」「無回答」を除いて再集計しています。

⑦自治会・町内会などの地域活動を行う

＜自治会･町内会などの地域活動を行う＞は『主に夫』が52.0%。

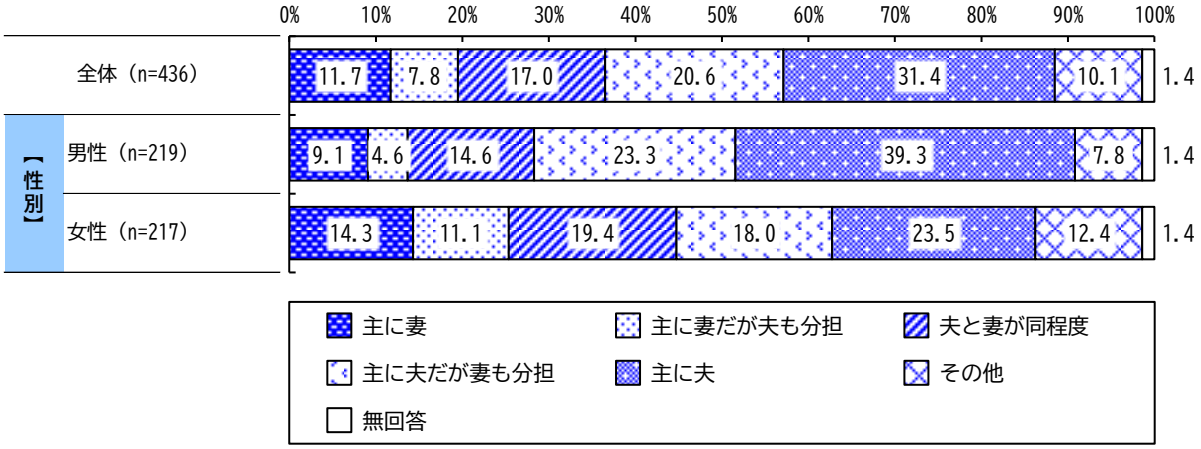
【⑦自治会･町内会などの地域活動を行う】は『主に妻』(「主に妻」＋「主に妻だが夫も分担」) が19.5%、「夫と妻が同程度」が17.0%、『主に夫』(「主に夫」＋「主に夫だが妻も分担」) が52.0%となっています。

性別でみると、『主に夫』は男性で62.6%、女性で41.5%となっています。

性・年代別でみると、女性の18歳～29歳、40歳～49歳で『主に配偶者』(「主に配偶者」＋「主に配偶者だがあなたも分担」) の割合が女性の他の年代に比べて低くなっています。

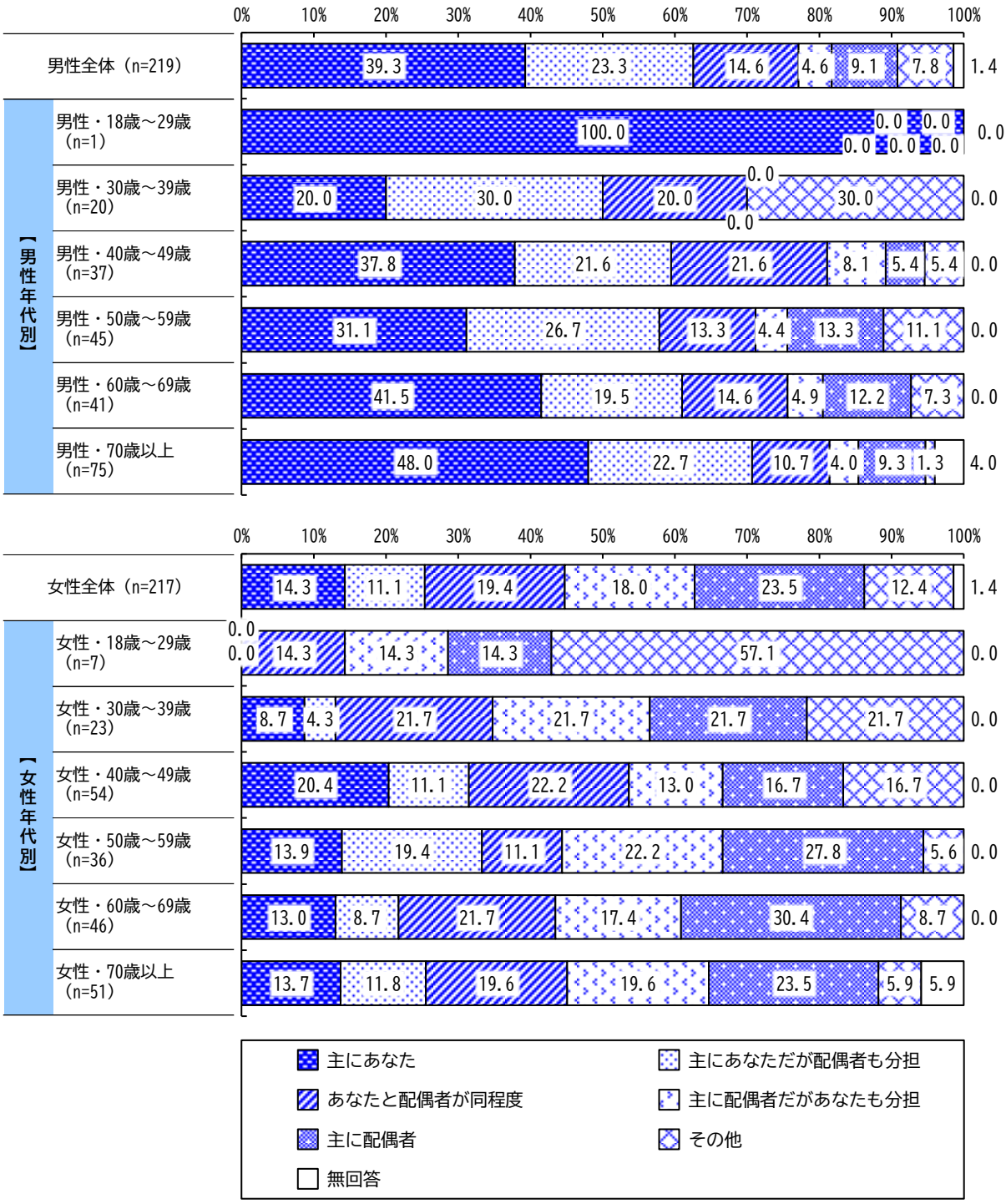
経年比較でみると、『主に妻』が減少傾向となっており、今年度調査で過去最低となっています。『主に夫』は増加傾向で、今年度調査で過去最高となっています。

【全体・性別】

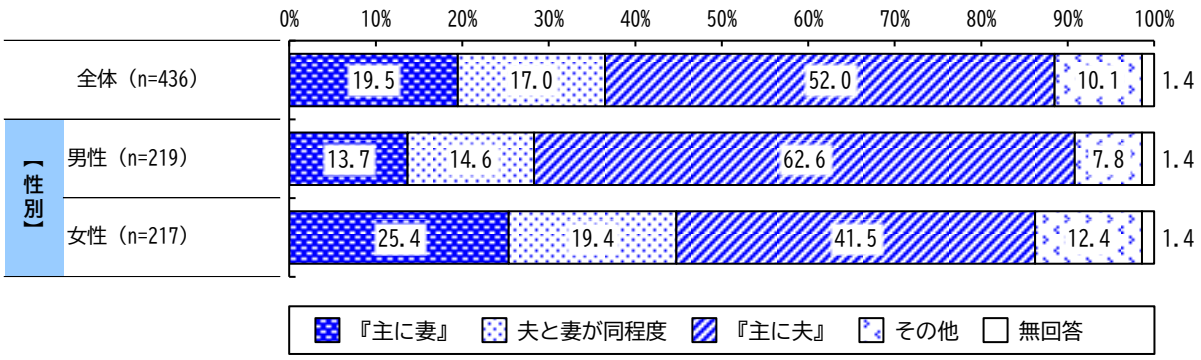


※選択肢は「主にあなた」「主にあなただが配偶者も分担」「あなたと配偶者が同程度」「主に配偶者だがあなたも分担」「主に配偶者」だが、集計上、男性の場合は「あなた」を「夫」に「配偶者」を妻に、女性の場合は「あなた」を「妻」に、「配偶者」を「夫」に変換しています。

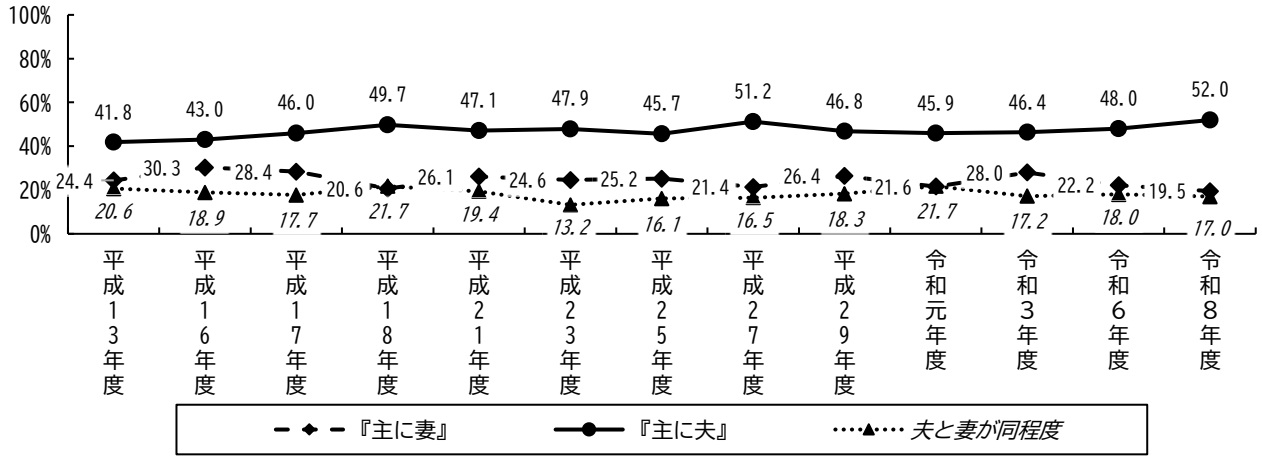
【⑦自治会・町内会などの地域活動を行う　性・年代別】



【⑦自治会・町内会などの地域活動を行う　全体・性別（選択肢まとめ）】



【⑦自治会・町内会などの地域活動を行う　経年比較】



※無回答などを省略していますので、合計しても100%にならないことがあります。
※『主に妻』（「主に妻」＋「主に妻だが夫も分担」）、『主に夫』（「主に夫」＋「主に夫だが妻も分担」）
※令和３年度以降の選択肢は「主にあなた」「主にあなただが配偶者も分担」「あなたと配偶者が同程度」「主に配偶者だがあなたも分担」「主に配偶者」だが、集計上、男性の場合は「あなた」を「夫」に、「配偶者」を「妻」に、女性の場合は「あなた」を「妻」に、「配偶者」を「夫」に変換しています。

	調査数	主に妻	主に妻だが夫も分担	夫と妻が同程度	主に夫だが妻も分担	主に夫	その他	無回答
平成13年度	916	13.5%	10.9%	20.6%	21.5%	20.3%	6.8%	6.3%
平成16年度	636	16.0%	14.3%	18.9%	19.7%	23.3%	3.1%	4.7%
平成17年度	637	16.2%	12.2%	17.7%	20.9%	25.1%	3.8%	4.1%
平成18年度	457	11.2%	9.4%	21.7%	21.7%	28.0%	4.2%	3.9%
平成21年度	536	15.7%	10.4%	19.4%	22.8%	24.3%	5.0%	2.4%
平成23年度	424	14.2%	10.4%	13.2%	19.8%	28.1%	6.6%	7.8%
平成25年度	571	14.5%	10.7%	16.1%	19.1%	26.6%	7.9%	5.1%
平成27年度	637	11.8%	9.6%	16.5%	21.7%	29.5%	5.2%	5.8%
平成29年度	547	16.3%	10.1%	18.3%	21.6%	25.2%	6.2%	2.4%
令和元年度	515	13.8%	7.8%	21.7%	21.6%	24.3%	6.8%	4.1%
令和３年度	547	15.2%	12.8%	17.2%	19.4%	27.1%	5.5%	2.9%
令和６年度	490	12.7%	9.6%	18.0%	19.8%	28.2%	9.2%	2.7%
令和８年度	436	11.7%	7.8%	17.0%	20.6%	31.4%	10.1%	1.4%

⑧子どもの教育方針や進学目標を決める

＜子どもの教育方針や進学目標を決める＞は「夫と妻が同程度」が56.0%。

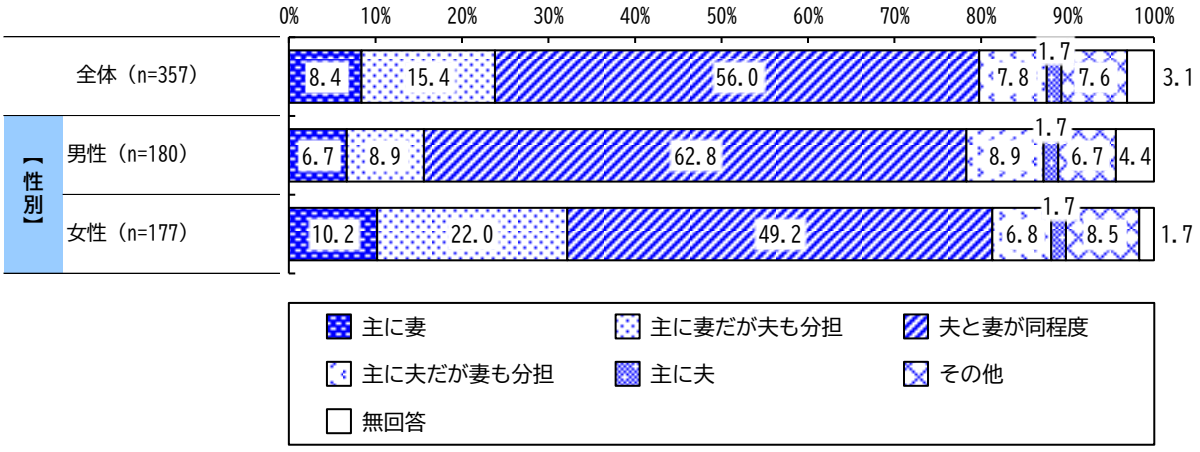
【⑧子どもの教育方針や進学目標を決める】は『主に妻』（「主に妻」＋「主に妻だが夫も分担」）が23.8%、「夫と妻が同程度」が56.0%、『主に夫』（「主に夫」＋「主に夫だが妻も分担」）が9.5%となっています。

性別でみると、「夫と妻が同程度」は男性で62.8%、女性で49.2%となっています。

性・年代別でみると、男性の30歳～39歳で「あなたと配偶者が同程度」の割合が他の年代に比べて高くなっています。また、女性の18～29歳、50歳～59歳で『主にあなた』（「主にあなた」＋「主にあなただが配偶者も分担」）の割合が他の年代に比べて高くなっています。

経年比較でみると、前回調査より『主に妻』は減少しており、『主に夫』はやや増加しています。「夫と妻が同程度」は５～６割で推移しています。

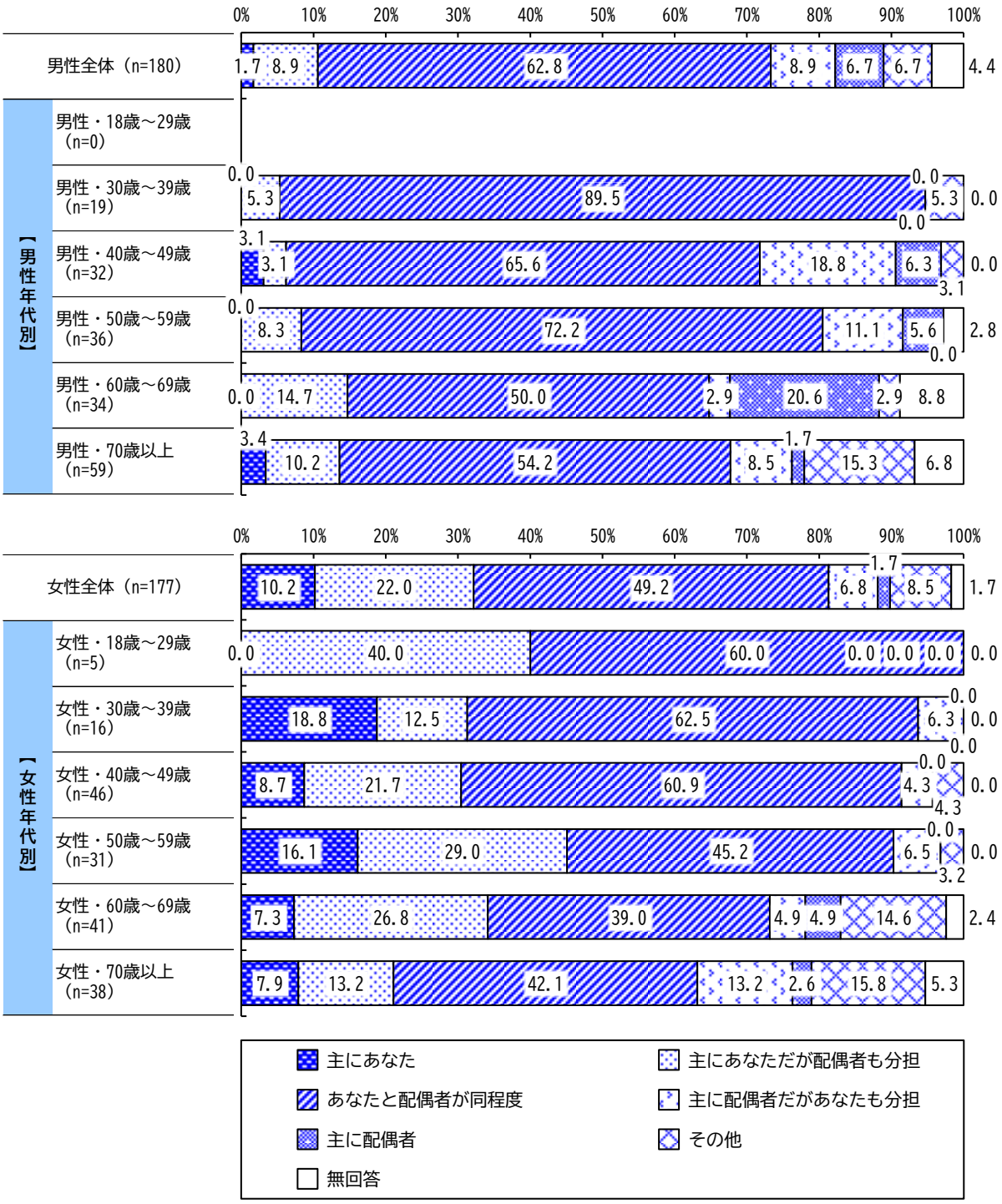
【全体・性別】



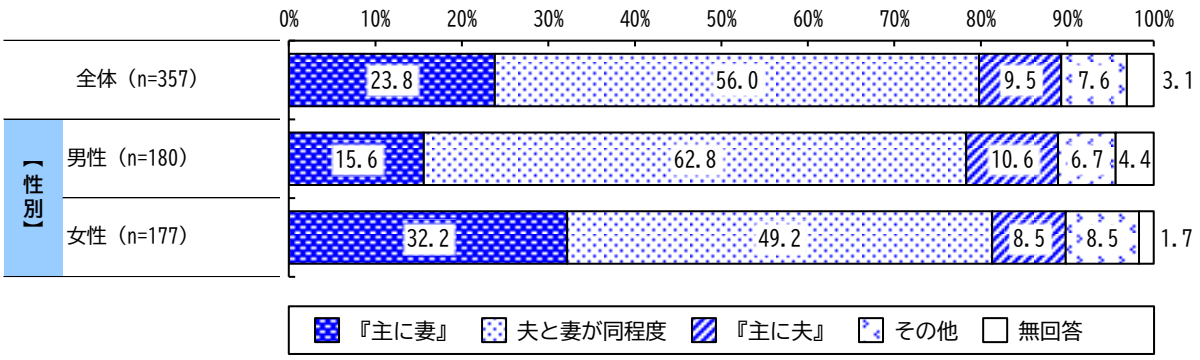
※選択肢は「主にあなた」「主にあなただが配偶者も分担」「あなたと配偶者が同程度」「主に配偶者だがあなたも分担」「主に配偶者」だが、集計上、男性の場合は「あなた」を「夫」に「配偶者」を妻に、女性の場合は「あなた」を「妻」に、「配偶者」を「夫」に変換しています。

※選択肢「同居の子どもや親がいない」を除外して集計しています。

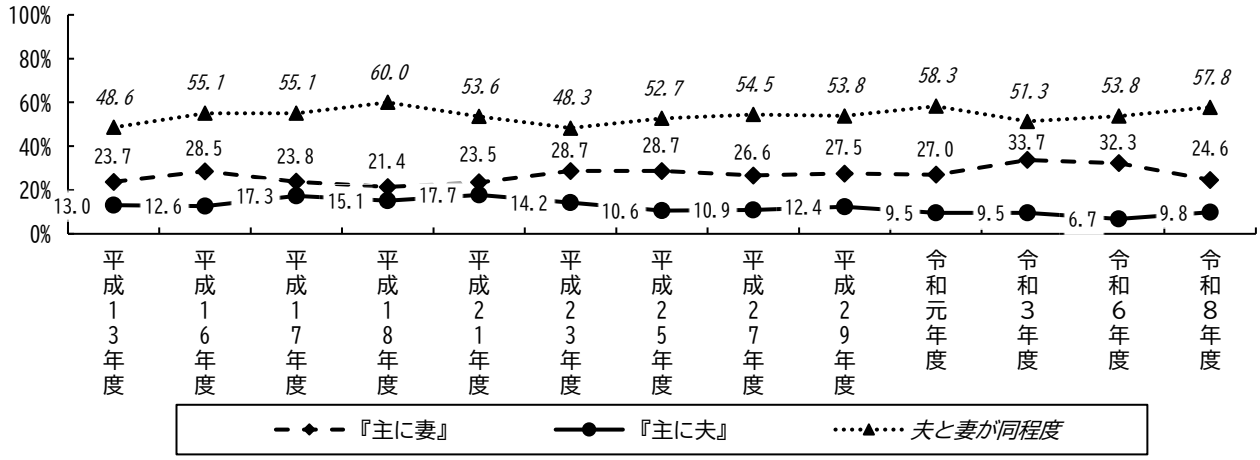
【⑧子どもの教育方針や進学目標を決める　性・年代別】



【⑧子どもの教育方針や進学目標を決める　全体・性別（選択肢まとめ）】



【⑧子どもの教育方針や進学目標を決める　経年比較】



※経年比較の条件を揃えるため、全体から「同居の子どもや親がいない」「無回答」を除いて再集計しています。

※無回答などを省略していますので、合計しても100%にならないことがあります。

※『主に妻』（「主に妻」＋「主に妻だが夫も分担」）、『主に夫』（「主に夫」＋「主に夫だが妻も分担」）

※令和３年度以降の選択肢は「主にあなた」「主にあなただが配偶者も分担」「あなたと配偶者が同程度」「主に配偶者だがあなたも分担」「主に配偶者」だが、集計上、男性の場合は「あなた」を「夫」に、「配偶者」を「妻」に、女性の場合は「あなた」を「妻」に、「配偶者」を「夫」に変換しています。

	調査数	主に妻	主に妻だが夫も分担	夫と妻が同程度	主に夫だが妻も分担	主に夫	その他
平成13年度	763	8.3%	15.4%	48.6%	8.6%	4.4%	14.6%
平成16年度	485	10.4%	18.1%	55.1%	10.1%	2.5%	3.9%
平成17年度	490	11.2%	12.6%	55.1%	11.8%	5.5%	3.6%
平成18年度	345	6.6%	14.8%	60.0%	10.7%	4.4%	3.4%
平成21年度	418	8.4%	15.1%	53.6%	14.4%	3.3%	5.3%
平成23年度	296	12.2%	16.6%	48.3%	9.5%	4.7%	8.8%
平成25年度	404	14.1%	14.6%	52.7%	7.9%	2.7%	7.9%
平成27年度	451	11.3%	15.3%	54.5%	7.3%	3.5%	8.0%
平成29年度	403	10.9%	16.6%	53.8%	9.2%	3.2%	6.2%
令和元年度	367	8.7%	18.3%	58.3%	6.8%	2.7%	5.2%
令和３年度	380	12.9%	20.8%	51.3%	7.4%	2.1%	5.5%
令和６年度	372	14.5%	17.7%	53.8%	5.6%	1.1%	7.3%
令和８年度	346	8.7%	15.9%	57.8%	8.1%	1.7%	7.8%

※経年比較の条件を揃えるため、全体から「同居の子どもや親がいない」「無回答」を除いて再集計しています。

⑨高額の商品や土地・家屋の購入を決める

＜高額の商品や土地･家屋の購入を決める＞は「夫と妻が同程度」が50.5%、『主に夫』が36.9%。

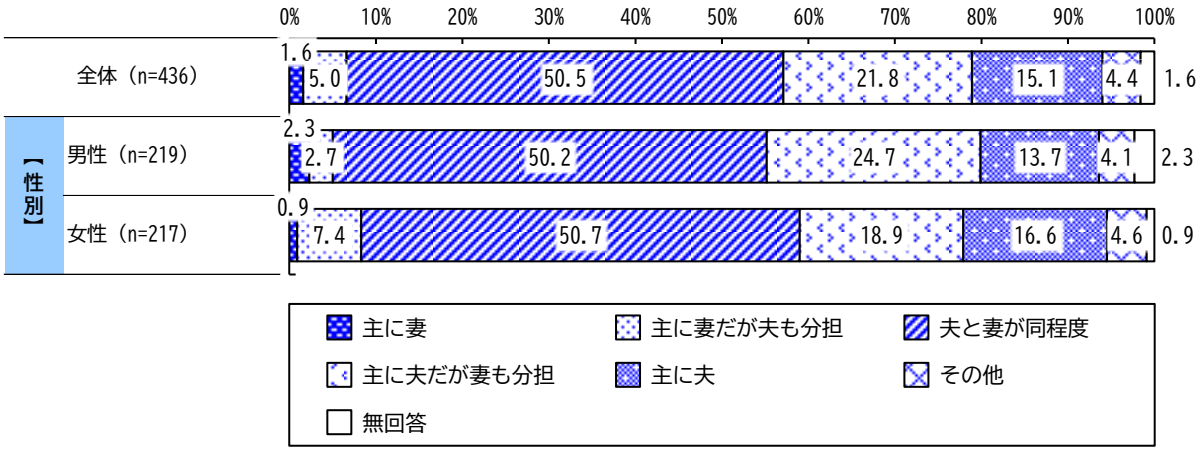
【⑨高額の商品や土地・家屋の購入を決める】は『主に妻』（「主に妻」＋「主に妻だが夫も分担」）が6.6%、「夫と妻が同程度」が50.5%、『主に夫』（「主に夫」＋「主に夫だが妻も分担」）が36.9%となっています。

性別でみると、「夫と妻が同程度」は男性で50.2%、女性で50.7%となっています。

性・年代別でみると、女性の40歳～49歳で「あなたと配偶者が同程度」の割合が他の年代に比べて高くなっています。また、男性の70歳以上で『主にあなた』（「主にあなた」＋「主にあなただが配偶者も分担」）、女性の30歳～39歳で『主に配偶者』（「主に配偶者」＋「主に配偶者だがあなたも分担」）の割合が他の年代に比べて高くなっています。

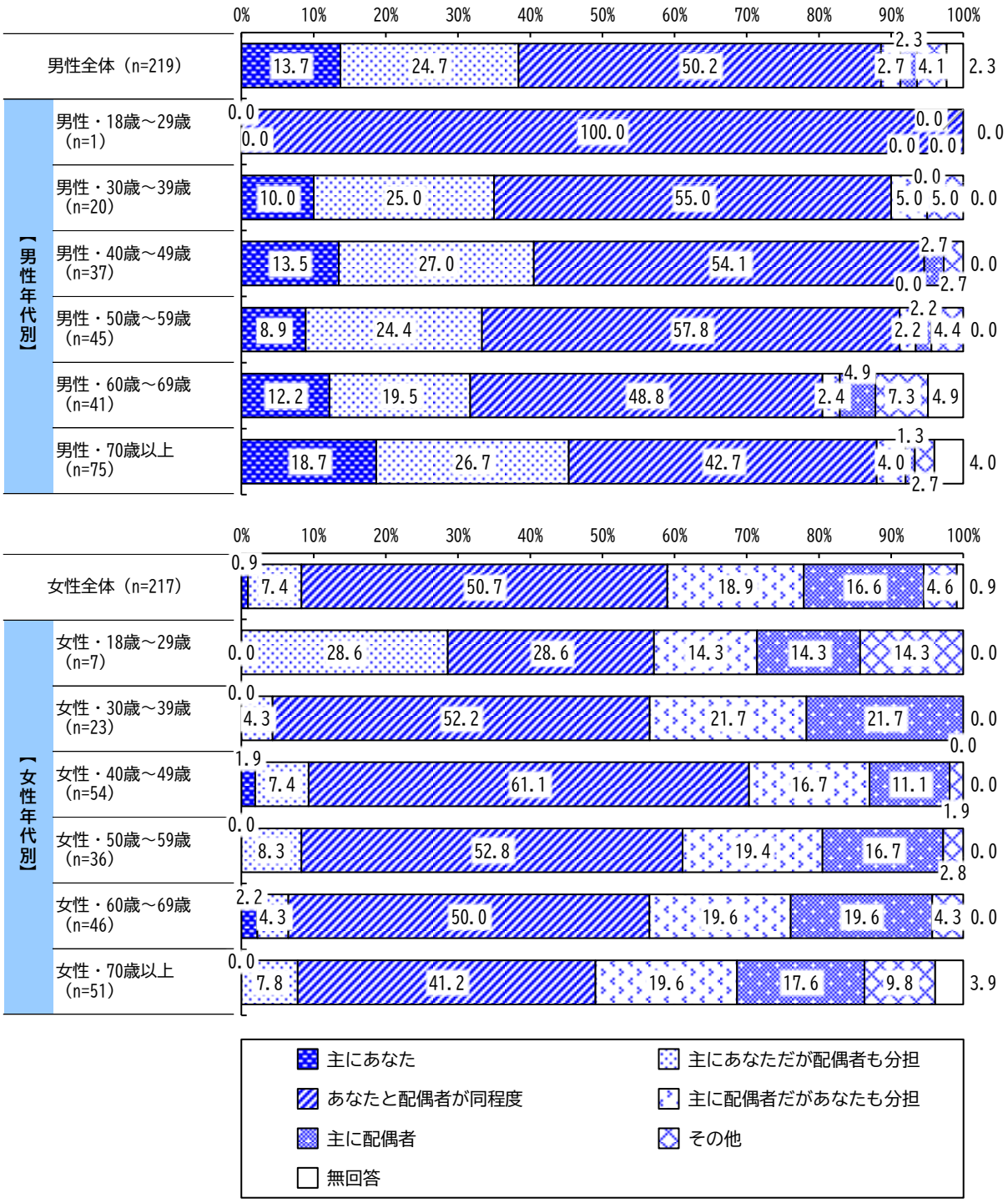
経年比較でみると、前回調査から大きな変化はありません。

【⑨高額の商品や土地・家屋の購入を決める　全体・性別】

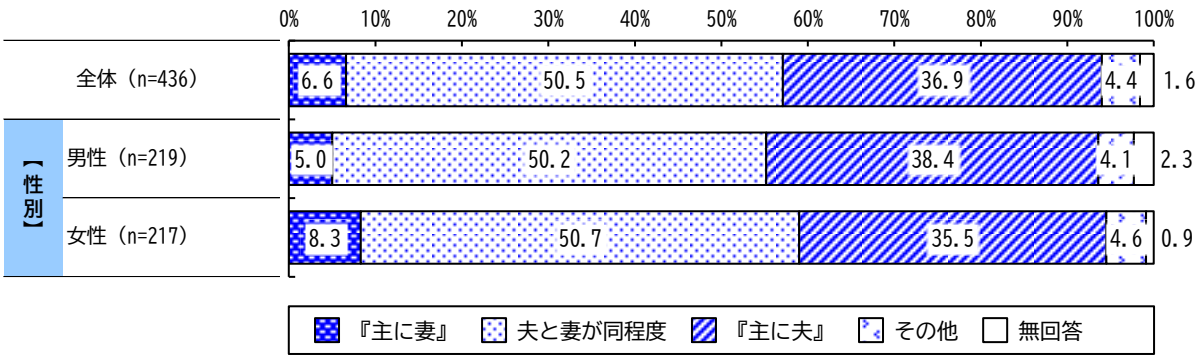


※選択肢は「主にあなた」「主にあなただが配偶者も分担」「あなたと配偶者が同程度」「主に配偶者だがあなたも分担」「主に配偶者」だが、集計上、男性の場合は「あなた」を「夫」に「配偶者」を妻に、女性の場合は「あなた」を「妻」に、「配偶者」を「夫」に変換しています。

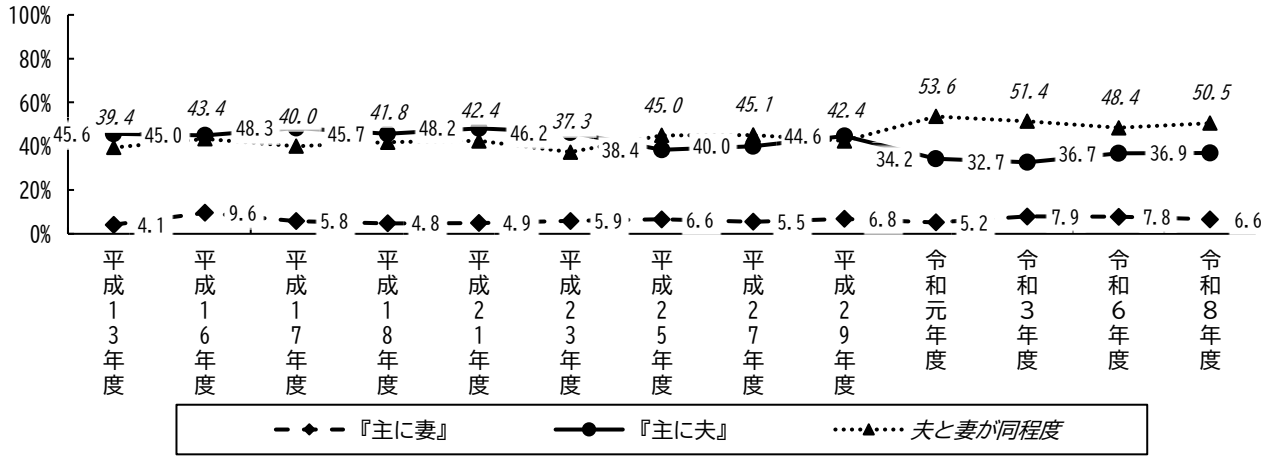
【⑨高額の商品や土地・家屋の購入を決める　性・年代別】



【⑨高額の商品や土地・家屋の購入を決める　全体・性別（選択肢まとめ）】



【⑨高額の商品や土地・家屋の購入を決める　経年比較】



※無回答などを省略していますので、合計しても100%にならないことがあります。
※『主に妻』（「主に妻」＋「主に妻だが夫も分担」）、『主に夫』（「主に夫」＋「主に夫だが妻も分担」）
※令和３年度以降の選択肢は「主にあなた」「主にあなただが配偶者も分担」「あなたと配偶者が同程度」「主に配偶者だがあなたも分担」「主に配偶者」だが、集計上、男性の場合は「あなた」を「夫」に、「配偶者」を「妻」に、女性の場合は「あなた」を「妻」に、「配偶者」を「夫」に変換しています。

	調査数	主に妻	主に妻だが夫も分担	夫と妻が同程度	主に夫だが妻も分担	主に夫	その他	無回答
平成13年度	916	2.0%	2.1%	39.4%	22.6%	23.0%	3.6%	7.3%
平成16年度	636	6.6%	3.0%	43.4%	19.2%	25.8%	2.0%	4.7%
平成17年度	637	2.5%	3.3%	40.0%	22.6%	25.7%	2.0%	3.8%
平成18年度	457	2.6%	2.2%	41.8%	23.4%	22.3%	2.6%	5.0%
平成21年度	536	2.1%	2.8%	42.4%	22.6%	25.6%	2.2%	2.4%
平成23年度	424	3.5%	2.4%	37.3%	20.0%	26.2%	2.8%	7.8%
平成25年度	571	2.6%	4.0%	45.0%	15.8%	22.6%	4.4%	5.6%
平成27年度	637	1.6%	3.9%	45.1%	16.8%	23.2%	2.2%	7.2%
平成29年度	547	3.1%	3.7%	42.4%	18.8%	25.8%	2.6%	3.7%
令和元年度	515	2.3%	2.9%	53.6%	15.0%	19.2%	2.9%	4.1%
令和３年度	547	2.7%	5.1%	51.4%	15.9%	16.8%	3.5%	4.6%
令和６年度	490	2.4%	5.3%	48.4%	21.6%	15.1%	4.3%	2.9%
令和８年度	436	1.6%	5.0%	50.5%	21.8%	15.1%	4.4%	1.6%